

**第5次鳥羽市総合計画に関する
市民意識調査結果**

平成30年3月

鳥 羽 市

目 次

1. 調査の概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査項目	1
1.3 調査設計	1
1.4 配布・回収の状況	1
2. 回答者の属性	2
2.1 性別	2
2.2 年齢	2
2.3 世帯構成	3
2.4 職業	3
2.5 交通手段	4
2.6 居住年数	4
2.7 居住地区	5
3. 調査結果	6
3.1 烏羽市への愛着・住みやすさ・定住意向について	6
3.2 市政に対する満足度・重要度について	10
3.3 市政情報の入手について.....	20
3.4 市職員について.....	22
3.5 市政への市民参画について.....	23
3.6 市議会について.....	26

1. 調査の概要

1.1 調査の目的

本調査は、市民の意向を把握し、第五次総合計画基本構想並びに後期基本計画の進捗を測る基礎資料とすることを目的とする。

1.2 調査項目

- (1) 地域への愛着度について
- (2) 住みやすさについて
- (3) 定住意向とその要因について
- (4) 施策別満足度・重要度について
- (5) 広報利活用度について
- (6) 市職員について
- (7) 市議会について 等

1.3 調査設計

- (1) 調査対象者 鳥羽市在住の18歳以上の市民（平成29年4月1日現在）
- (2) 標本数 2,000人
- (3) 調査期間 平成29年9月4日（月）～9月20日（水）
- (4) 調査方法 対象者本人記入方式の調査票調査
- (5) 配布・回収 郵便による配布、回収

1.4 配布・回収の状況

- (1) 配布数 2,000件
- (2) 回収数 657件（回収率32.85%）

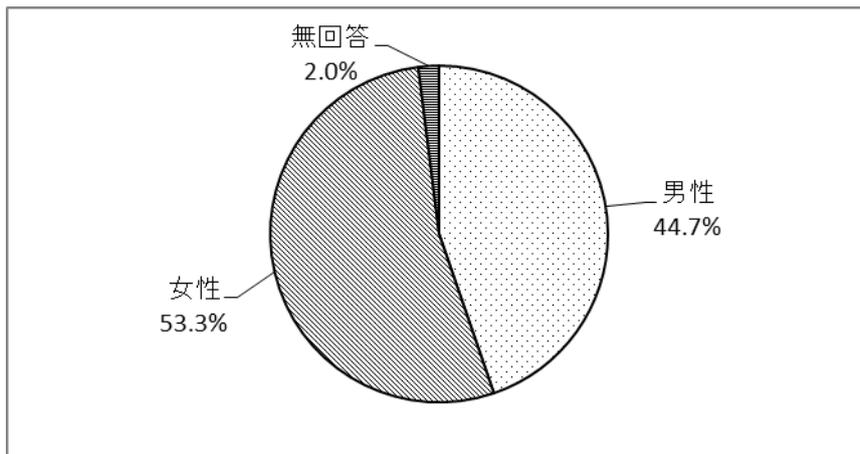
2. 回答者の属性

あなたご自身についておたずねします

2.1 性別

問1. (1) あなたの性別は。

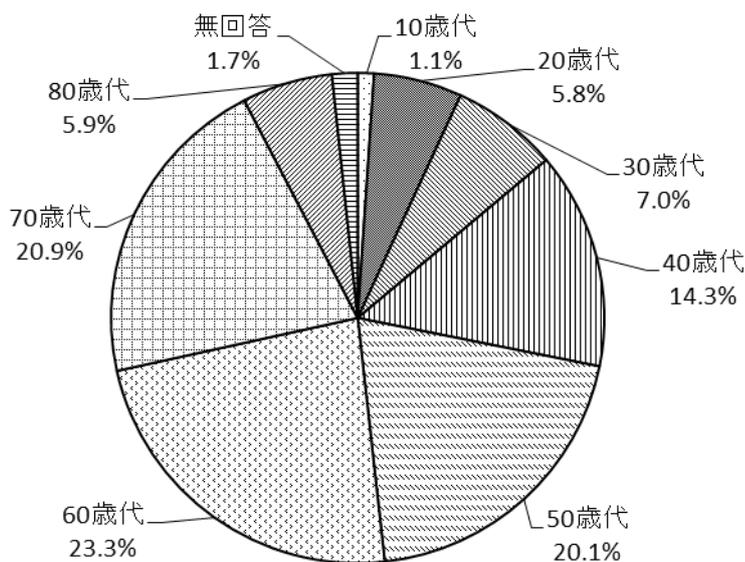
回答者の性別は、“女性”が53.3%、“男性”が44.7%であり、“女性”の方が8.6ポイント高くなっている。



2.2 年齢

問1. (2) あなたの年齢は。

回答者の年齢は、“60歳代”が23.3%と最も高く、次いで“70歳代”が20.9%、“50歳代”が20.1%となっている。60歳以上の高齢者が約50%と高く、30歳代以下の若年層が約13.9%と低くなっている。

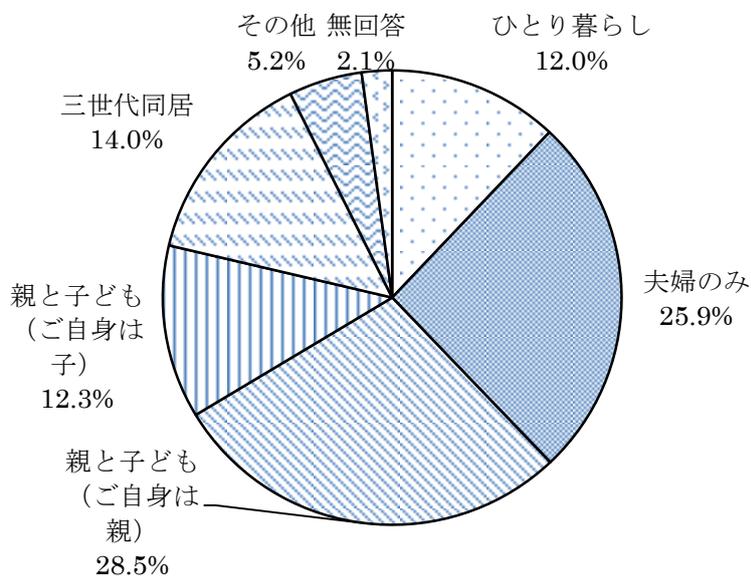


2.3 世帯構成

問 1. (3) あなたの世帯構成は次のうちどれにあたりますか。

回答者の世帯構成は、“親と子ども（ご自身は親）”が28.5%と最も高く、次いで“夫婦のみ”が25.9%、“三世代同居”及び“親と子ども（ご自身は子）”が14.0%となっている。

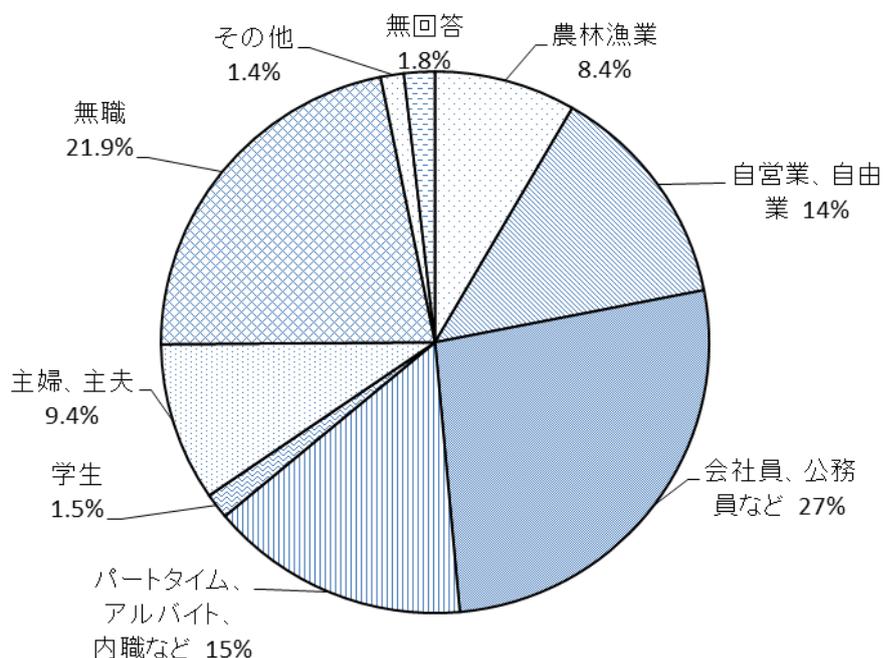
同居家族のいる人が大半を占め、“ひとり暮らし”の人は約12%となっている。



2.4 職業

問 1. (4) あなたの主なご職業は。（兼業の方は、主たる職業についてお答えください。）

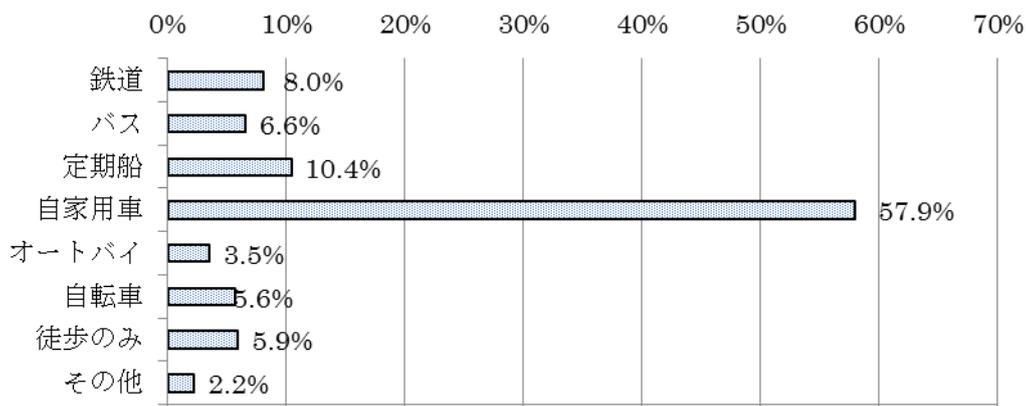
回答者の職業は、“会社員、公務員など”が27.0%と最も高く、次いで“無職”が21.9%、“自営業・自由業”が14.0%となっている。有職者が約64%を占めているものの、回答者の年齢構成や性別構成を反映して、“無職”や“主婦・主夫”も高くなっている。



2.5 交通手段

問1. (5) あなたが、通勤・通学、日常的なお出かけの際に利用している交通手段は次のどれですか。
(当てはまるものをすべてお答えください。)

回答者の交通手段は、“自家用車”が57.9%と最も高く、次いで“定期船”が10.4%、“鉄道”が8.0%、“バス”が6.6%、“徒歩のみ”が5.9%となっている。

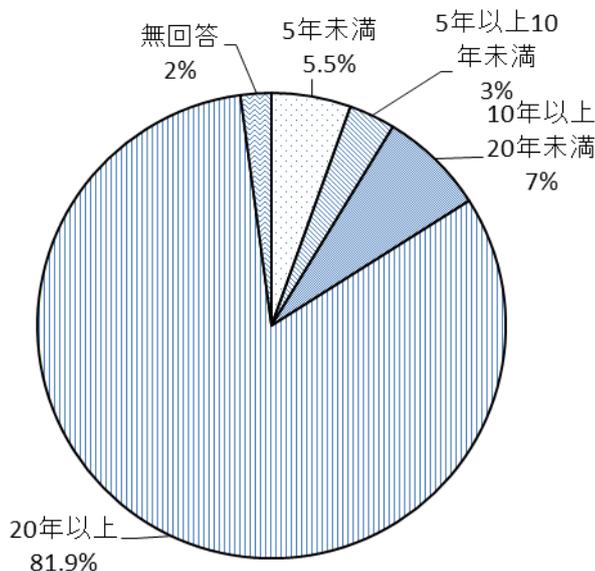


2.6 居住年数

問1. (6) あなたは鳥羽市にお住まいになってどれぐらい経ちますか。

回答者の居住年数は、“20年以上”が81.9%と最も高く、次いで“10年以上20年未満”が7.0%、“5年以上10年未満”が3.0%、“5年未満”が5.5%となっている。

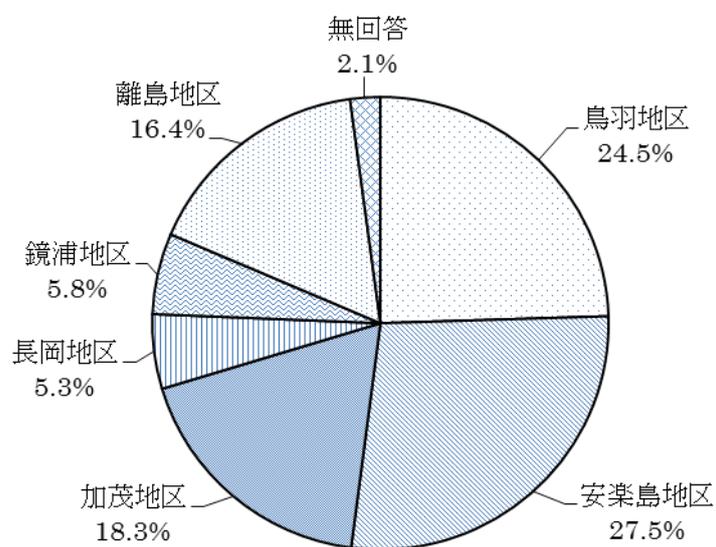
“20年以上”と“10年以上20年未満”をあわせると88.9%となり、居住年数が長い人が大半を占めている。一方、5年未満の比較的居住年数が浅い人は、5.5%にとどまっている。



2.7 居住地区

問 1. (7) あなたのお住まいの地区をお答えください

回答者の居住地区は、“安楽島地区”が27.5%と最も高く、次いで“鳥羽地区”が24.5%、“加茂地区”が18.3%となっている。



3. 調査結果

3.1 鳥羽市への愛着・住みやすさ・定住意向について

問2. あなたは、現在お住まいの地域に愛着をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

【全体】

全体では“持っている”が43.2%と最も多く、次いで“どちらかといえば持っている”が39.6%となっており、今住んでいる地域に愛着を感じている人が82.8%を占めている。

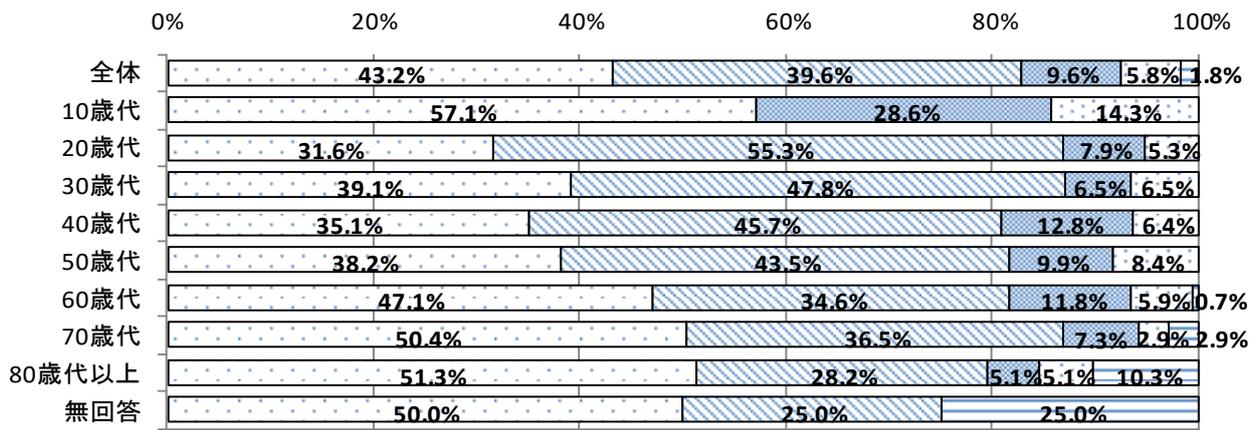
【年齢別】

“持っている”“どちらかといえば持っている”の合計が、20歳代、30歳代及び70歳代で86.9%と最も高く、次いで50歳代、60歳代で81.7%となっている。

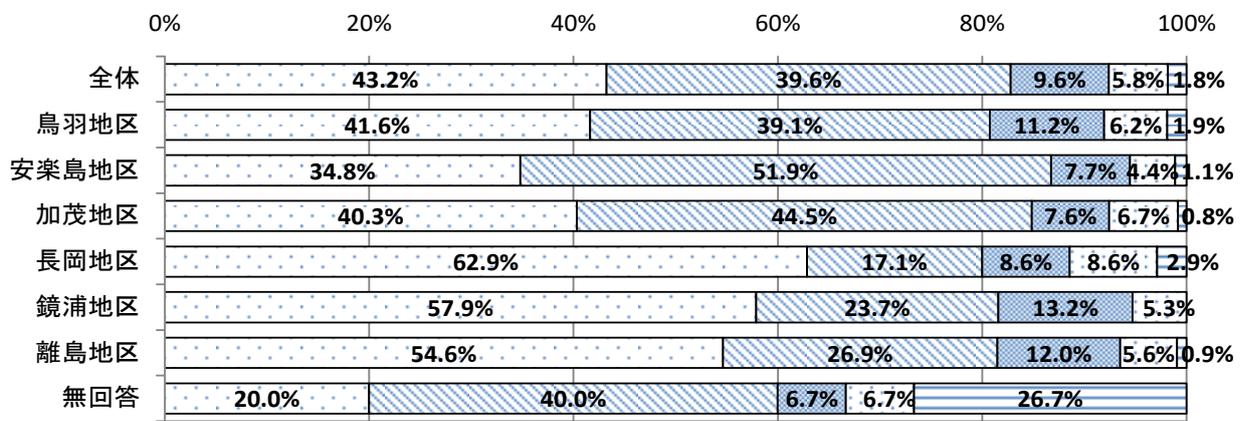
【地区別】

“持っている”“どちらかといえば持っている”の合計が、安楽島地区で86.7%と最も高く、次いで加茂地区、鏡浦地区、離島地区となっており、これらの地区は全体値を上回っている。

“持っている”は長岡地区、鏡浦地区、離島地区で高くなっている。



□持っている □どちらかといえば持っている □どちらかといえば持っていない □持っていない □無回答



□持っている □どちらかといえば持っている □どちらかといえば持っていない □持っていない □無回答

問3. あなたにとって、鳥羽市は住みやすいまちだと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

【全体】

“まあ住みやすい”が42.0%と最も高く、次いで“住みやすい”が23.3%となっている。

“住みやすい”と“まあ住みやすい”を合わせた「(まあ)住みやすい」が65.3%となっている。

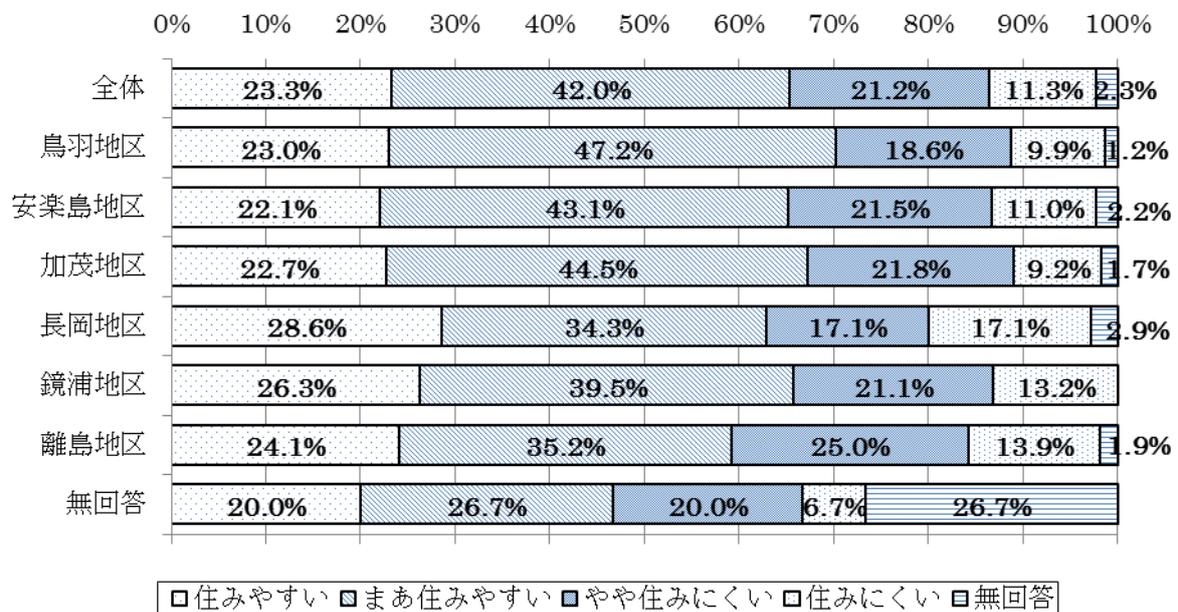
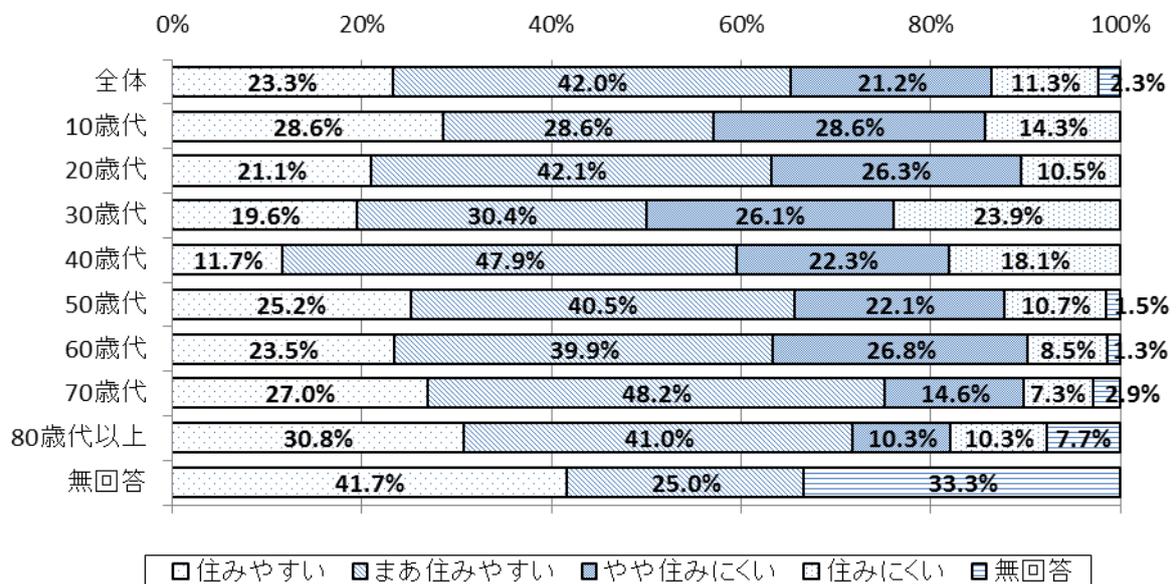
【年齢別】

「(まあ)住みやすい」が、70歳代で75.2%と最も高く、次いで80歳代となっている。

各年代別の中で30歳代が最も低くなっており、住みにくいと感じている。

【地区別】

「(まあ)住みやすい」が、鳥羽地区が70.2%と最も高く、次いで加茂地区、鏡浦地区となっている。なお、離島地区が最も低くなっている。



問4. あなたは今後も鳥羽市に住んでいたいと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

【全体】

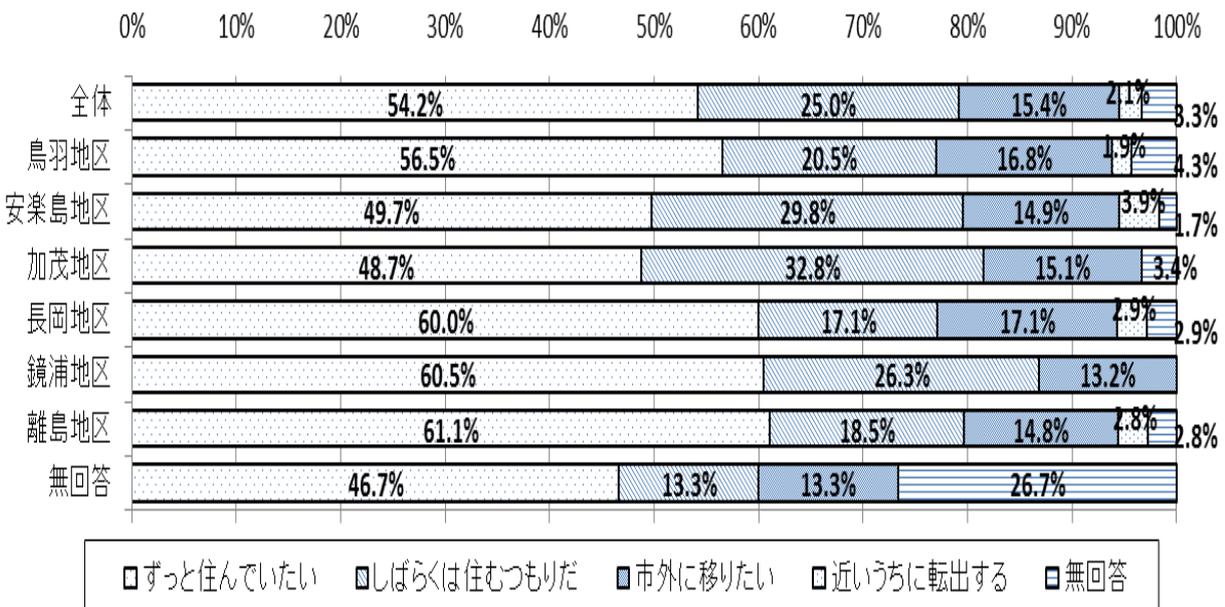
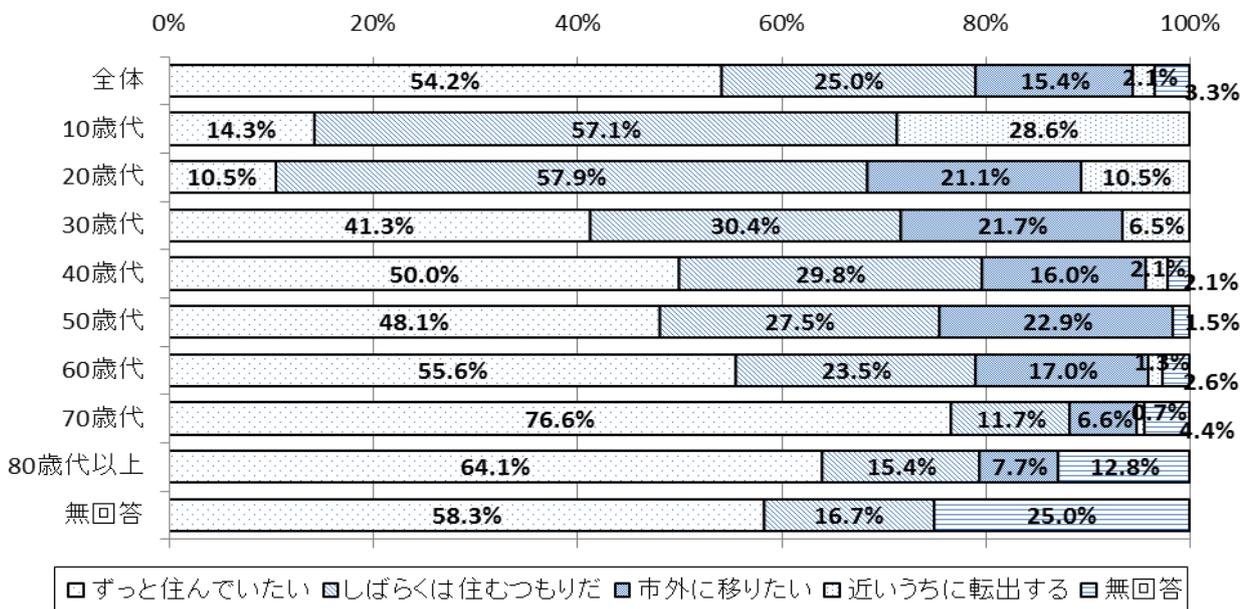
全体では“ずっと住んでいたい”が54.2%と最も高く、次いで“しばらくは住むつもり”が25.0%、“市外に移りたい”が15.4%、“近いうちに転出する”が2.1%となっている。

【年齢別】

“住んでいたい”“しばらくは住むつもり”の合計が、70歳代で88.3%と最も高く、次いで40歳代、80歳代となっている。なお、20歳代が68.4%と最も低くなっている。

【地区別】

“住んでいたい”“しばらくは住むつもり”の合計が、鏡浦地区で86.8%と最も高く、次いで加茂地区となっている。



問4-1. “ずっと住んでいたい” “しばらくは住むつもり” を選んだ方への質問

それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

【全体】

全体では“緑や自然環境が豊かである”が最も高く、次いで“犯罪が少なく治安がよい”、“公害が少ない”、“近所づきあいなどの人間関係がよい”となっており、前回調査と同じ順位となっている。

問4-2. “市外に移りたい” “近いうちに転出する” を選んだ方への質問

それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

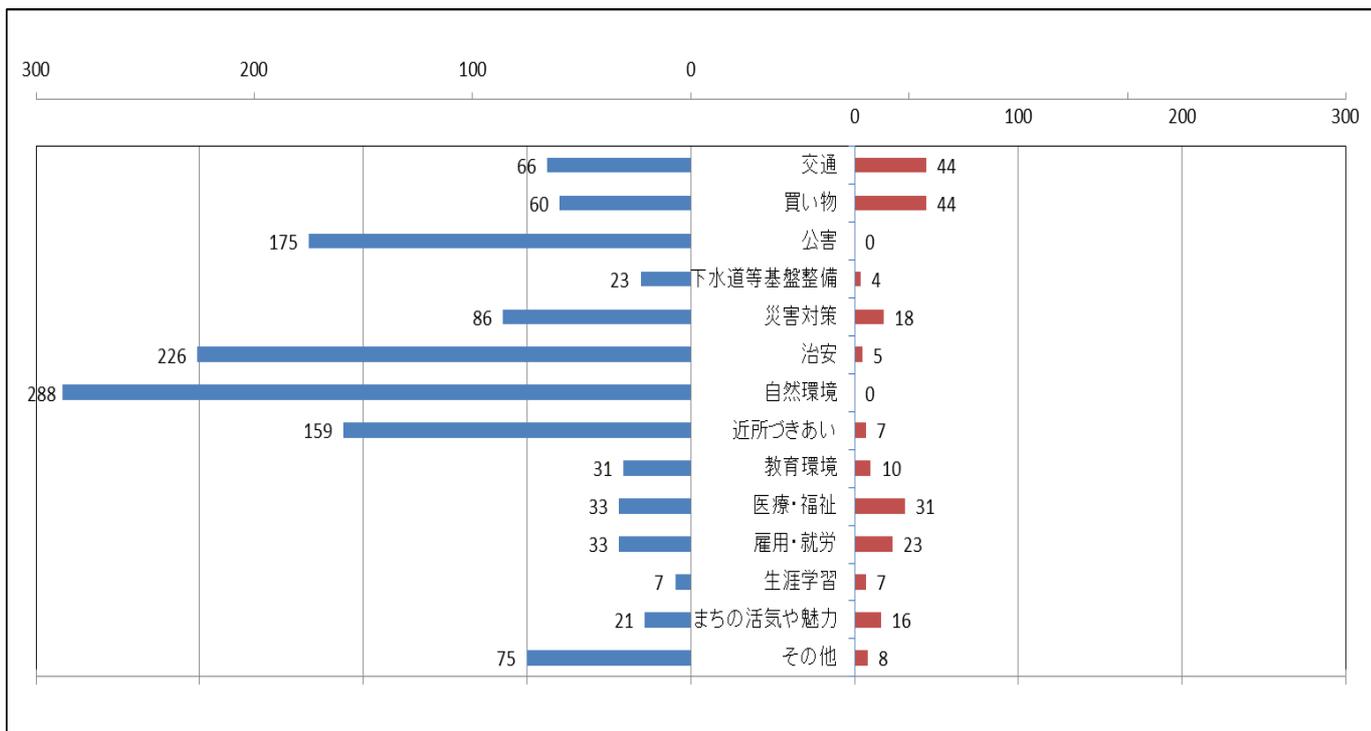
【全体】

全体では、“交通の便が悪い” “買い物が不便である”、“医療や福祉環境が充実していない”が最も高く、次いで“雇用・就労のはたらき口が不足している”、“まちに活気や魅力がない”となっている。

前回調査と比べると“災害対策が不安である”が増加している。

住んでいたい理由

住んでたくない理由



3.2 市政に対する満足度・重要度について

問5. 本市では、将来都市像の『真珠のようにきらり輝く鳥羽』を実現するために、以下に挙げるような「目標」と「めざすまちの姿」を設定して、施策を推進しています。
こうした取り組みについて、現在あなたはどの程度満足され、どの程度重要視されていますか？満足度・重要度ともに5段階で評価し、その番号を○で囲んでください。（取組の内容を知らない場合や、全く関心がない場合は、「6. わからない」を選んでください。）

【重要度】

<H29 年度>

施策目標に対する市民の重要度は次のとおりである。上位には、“災害から市民生活を守る”、“安全で安定した水を提供する”、“生活トラブルから市民をまもる”、“いざという時の受診体制を整える”、“若者の地元での就職や起業を支える”が挙がっており、下位には“地域づくりに歴史文化を活かす”、“市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる”、“協働のための仕組みをつくる”などが挙げられている。

<参考：H26 年度との比較>

前回調査との比較で重要度が増したものとしては、“多様な個性や文化を認め合う精神を育てる”、“生活トラブルから市民をまもる”、“豊かな水産資源のブランド化を図る”などが挙げられる。

逆に重要度が下がったものとして、“消防・救急体制を充実する”、“持続可能な財政運営を進める”、“伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる”などが挙げられている。

重要度順施策一覧

目標	重要度		
	H29	H26	差
32災害から市民生活をまもる	4.68	4.66	0.02
25安全で安定した水を提供する	4.64	4.59	0.05
33生活トラブルから市民をまもる	4.63	4.43	0.20
27いざという時の受診体制を整える	4.63	4.65	△ 0.02
7若者の地元での就職や起業を支える	4.58	4.50	0.08
8将来性のある企業活動・ビジネスを育てる	4.53	4.51	0.02
28安心できる社会保障制度を運営する	4.53	4.59	△ 0.06
26健康づくりに対する意識を高める	4.52	4.49	0.03
34消防・救急体制を充実する	4.48	4.67	△ 0.19
6子どもと子育て家庭をやさしく支える	4.48	4.38	0.10
1地域ぐるみで子どもたちを育てる	4.46	4.50	△ 0.04
20伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる	4.42	4.47	△ 0.05
23暮らしに必要な交通の便を確保する	4.39	4.42	△ 0.03
24衛生的な生活の場をつくる	4.38	4.38	△ 0.00
12豊かな水産資源のブランド化を図る	4.37	4.25	0.12
30高齢者の生きがいある生活を支える	4.36	4.26	0.10
31障がい者の主体的な生活を支える	4.35	4.32	0.03
22安全で快適な道づくりを進める	4.34	4.31	0.03
40持続可能な財政運営を進める	4.33	4.40	△ 0.07
37質の高い市民サービスを追求する	4.33	4.28	0.05
9海洋文化都市としての資源に磨きをかける	4.30	4.25	0.05
29市民の支え合いの和を広げる	4.29	4.20	0.09
39組織の充実と人材育成を行う	4.29	4.31	△ 0.02
19緑豊かなまちをまもる	4.24	4.19	0.05
35市民活動が行いやすい環境をつくる	4.23	4.22	0.01
5若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる	4.22	4.26	△ 0.04
11おもてなしの心を育み、鳥羽の魅力を発信する	4.20	4.16	0.04
14地域産業の経営安定化を図る	4.20	4.15	0.05
4多様な個性や文化を認め合う精神を育てる	4.16	3.94	0.22
18資源循環型社会をつくる	4.14	4.17	△ 0.03
2市民や子どもたちの生涯学習を進める	4.14	4.10	0.04
10まちの美しさや機能に磨きをかける	4.13	4.06	0.07
38目的達成型の行政経営を進める	4.12	4.16	△ 0.04
13農業に触れる機会をつくる	4.12	4.05	0.07
21安らぎの感じられる住環境をつくる	4.05	4.00	0.05
3スポーツを通じて健全な心を育てる	4.05	4.00	0.05
17低炭素社会への歩みを進め、地球環境をまもる	4.05	3.98	0.07
36協働のための仕組みをつくる	4.04	4.08	△ 0.04
16市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる	4.04	3.93	0.11
15地域づくりに歴史文化を活かす	3.96	3.82	0.14
全体平均	4.31	4.28	0.03

【満足度】

<H29 年度>

施策目標に対する市民の満足度は次のとおりである。上位には、“安全で安定した水を提供する”、“健康づくりに対する意識を高める”、“消防・救急体制を充実する”、“地域ぐるみで子どもたちを育てる”、“資源循環型社会をつくる”が挙がっており、下位には“若者の地元での就職や起業を支える”、“将来性のある企業活動・ビジネスを育てる”、“若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる”などが挙げられている。

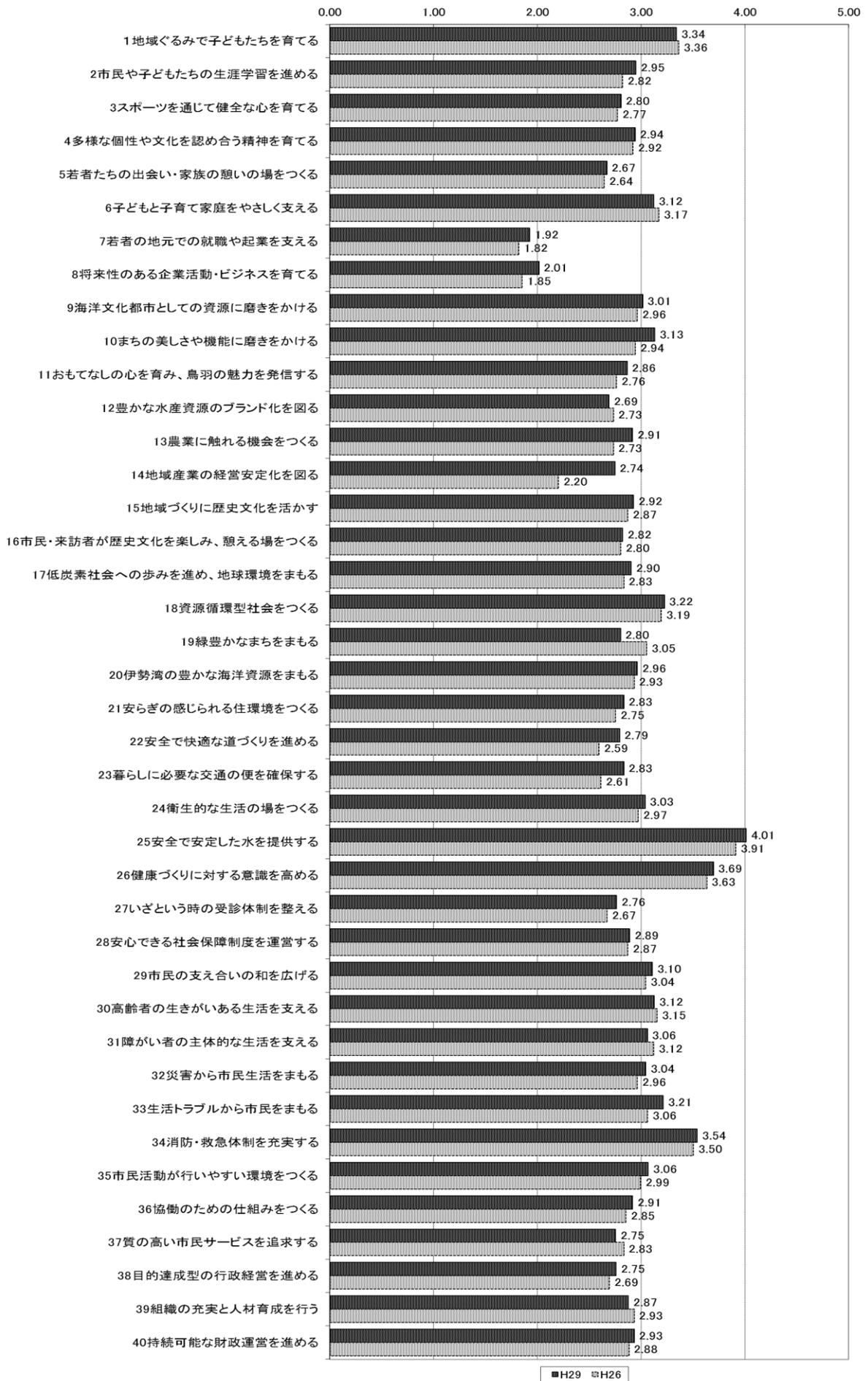
<参考：H26 年度との比較>

前回調査との比較で、満足度が増したものとしては、“地域産業の経営安定化を図る”、“暮らしに必要な交通の便を確保する”、“安全で快適な道づくりを進める”、“まちの美しさや機能に磨きをかける”、“農業に触れる機会をつくる”、などが挙げられる。

逆に満足度が下がったものとして、“緑豊かなまちをまもる”、“質の高い市民サービスを追求する”、“障がい者の主体的な生活を支える”、“組織の充実と人材育成を行う”などが挙げられている。

満足度順施策一覧

目標	満足度		
	H29	H26	差
25安全で安定した水を提供する	4.01	3.91	0.10
26健康づくりに対する意識を高める	3.69	3.63	0.06
34消防・救急体制を充実する	3.54	3.50	0.04
1地域ぐるみで子どもたちを育てる	3.34	3.36	△ 0.02
18資源循環型社会をつくる	3.22	3.19	0.03
33生活トラブルから市民をまもる	3.21	3.06	0.15
10まちの美しさや機能に磨きをかける	3.13	2.94	0.19
30高齢者の生きがいある生活を支える	3.12	3.15	△ 0.03
6子どもと子育て家庭をやさしく支える	3.12	3.17	△ 0.05
29市民の支え合いの和を広げる	3.10	3.04	0.06
35市民活動が行いやすい環境をつくる	3.06	2.99	0.07
31障がい者の主体的な生活を支える	3.06	3.12	△ 0.06
32災害から市民生活をまもる	3.04	2.96	0.08
24衛生的な生活の場をつくる	3.03	2.97	0.06
9海洋文化都市としての資源に磨きをかける	3.01	2.96	0.05
20伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる	2.96	2.93	0.03
2市民や子どもたちの生涯学習を進める	2.95	2.82	0.13
4多様な個性や文化を認め合う精神を育てる	2.94	2.92	0.02
40持続可能な財政運営を進める	2.93	2.88	0.05
15地域づくりに歴史文化を活かす	2.92	2.87	0.05
13農業に触れる機会をつくる	2.91	2.73	0.18
36協働のための仕組みをつくる	2.91	2.85	0.06
17低炭素社会への歩みを進め、地球環境をまもる	2.90	2.83	0.07
28安心できる社会保障制度を運営する	2.89	2.87	0.02
39組織の充実と人材育成を行う	2.87	2.93	△ 0.06
11おもてなしの心を育み、鳥羽の魅力を発信する	2.86	2.76	0.10
21安らぎの感じられる住環境をつくる	2.83	2.75	0.08
23暮らしに必要な交通の便を確保する	2.83	2.61	0.22
16市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる	2.82	2.80	0.02
3スポーツを通じて健全な心を育てる	2.80	2.77	0.03
19緑豊かなまちをまもる	2.80	3.05	△ 0.25
22安全で快適な道づくりを進める	2.79	2.59	0.20
27いざという時の受診体制を整える	2.76	2.67	0.09
38目的達成型の行政経営を進める	2.75	2.69	0.06
37質の高い市民サービスを追求する	2.75	2.83	△ 0.08
14地域産業の経営安定化を図る	2.74	2.20	0.54
12豊かな水産資源のブランド化を図る	2.69	2.73	△ 0.04
5若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる	2.67	2.64	0.03
8将来性のある企業活動・ビジネスを育てる	2.01	1.85	0.16
7若者の地元での就職や起業を支える	1.92	1.82	0.10
全体平均	2.95	2.88	0.06



＜満足度及び重要度の分類による市民ニーズの整理＞

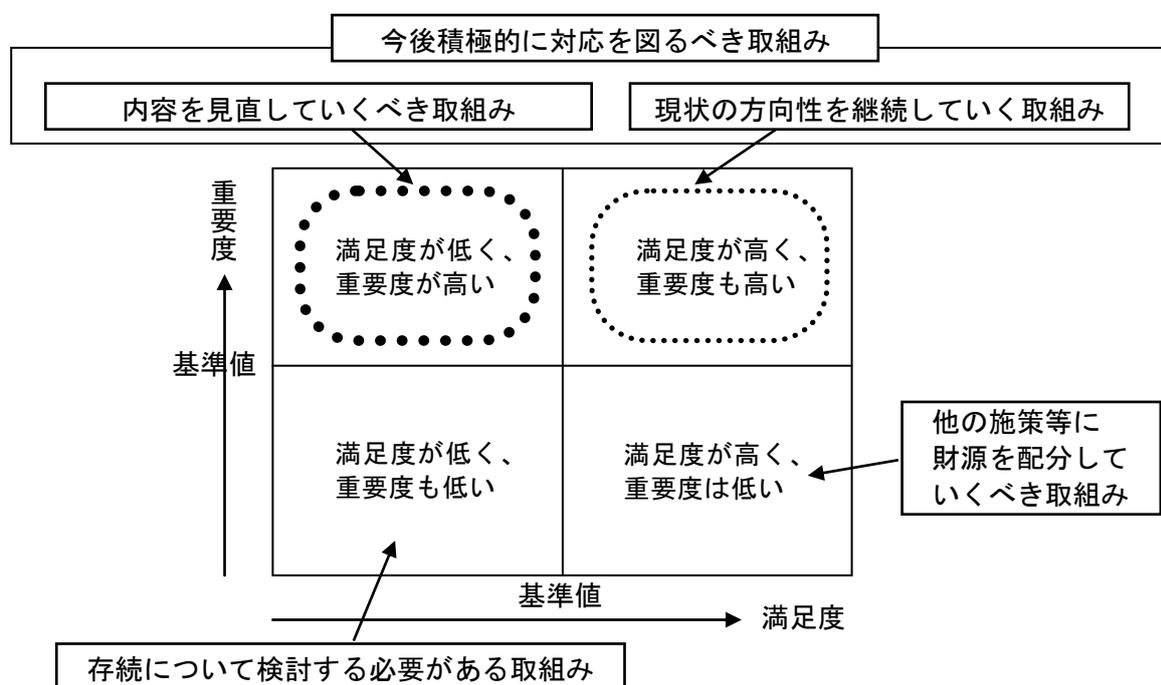
満足度を横軸、重要度を縦軸にして、各取組みのポジショニングを行った散布図を作成し、各取組み相互の位置関係を示すことにより特性の把握を行った。

「わからない」「無回答」を除く回答者に対する満足度の平均値（2.95）、重要度の平均値（4.31）をふまえ、満足度と重要度の関係を下図のように整理し分析した。

【今後積極的に対応を図るべき取組み】

今後積極的に対応を図るべき取組みは、満足度が低く、重要度が高い「内容を見直していくべき取組み」と、満足度が高く、重要度も高い「現状の方向性を継続していく取組み」の2つの象限に該当する取組みと考えられる。

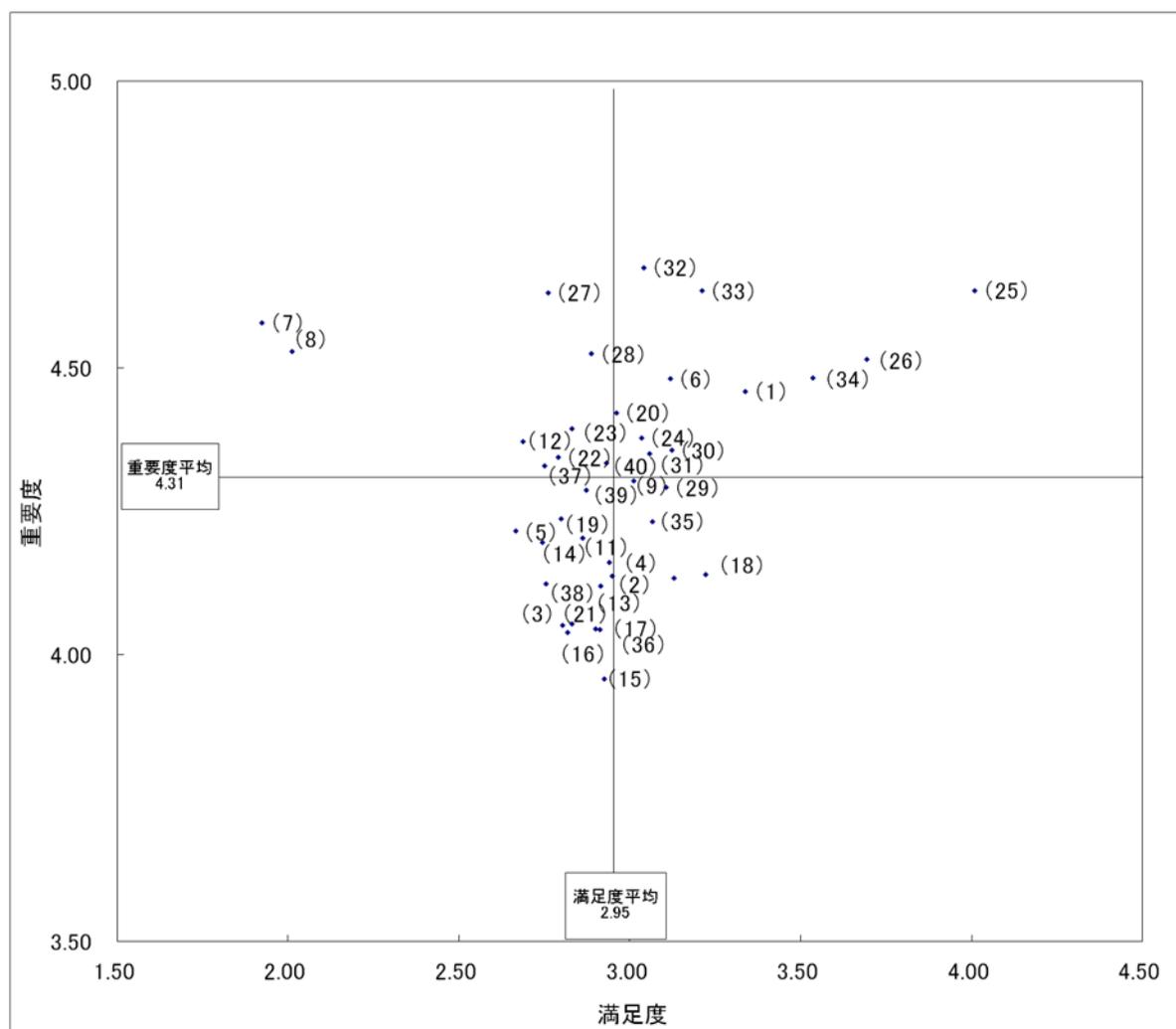
なお、満足度、重要度の平均得点に近い部分の取組みについては、状況に応じて対応を行うものとする。



満足度：「満足している」＝5点、「やや満足している」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「やや不満である」＝2点、「不満である」＝1点とし、「わからない」「無回答」を除いた平均得点

重要度：「重要である」＝5点、「やや重要である」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点とし、「わからない」「無回答」を除いた平均得点

＜満足度、重要度の分布＞



○満足度が高く、重要度も高い「現状の方向性を継続していく取組み」(次ページ表のゴシック太字)

現状の方向性を継続していく取組みとしては、「1 地域ぐるみで子どもたちを育てる」、「6 子どもと子育て家庭をやさしく支える」などの子育て・人材育成に関する取組み、「24 衛生的な生活の場をつくる」、「25 安全で安定した水を提供する」、などの生活環境に関する取組み、「26 健康づくりに対する意識を高める」、「高齢者の生きがいある生活を支える」、「31 障がい者の主体的な生活を支える」などの保健医療・福祉に関わる取組み、「32 災害から市民生活をまもる」、「生活トラブルから市民を守る」、「34 消防・救急体制を充実する」などの安全・安心なまちづくりに関する取組みなどがあげられている。

○満足度が低く、重要度が高い「内容を見直していくべき取組み」(次ページ表の網掛け)

内容を見直していくべき取組みとしては、「7 若者の地元での就職や起業を支える」、「8 将来性のある企業活動・ビジネスを育てる」など雇用促進に関する取組みと、「12 豊かな水産資源のブランド化を図る」などの産業振興に関する取組み、「22 安全で快適な道づくりを進める」、「23 暮らしに必要な交通の便を確保する」などの社会基盤整備に関わる取組み、「27 いざという時の受診体制を整える」、「28 安心できる社会保障制度を運営する」などの医療・社会保障に関わる取組み、「37 質の高い市民サービスを追求する」などの行政経営に関する取組みなどがあげられている。

＜市民意識調査からフィードバックすべき施策推進の方向性＞			
めざすまちの姿	まちづくり目標	施策目標	
学びたい・働きたい・住み続けたいという思いが育つまち	【人材育成】 市民の郷土愛を育てよう	1地域ぐるみで子どもたちを育てる	
		2市民や子どもたちの生涯学習を進める	
		3スポーツを通じて健全な心を育てる	
		4多様な個性や文化を認め合う精神を育てる	
	【結婚・子育て】 家族や恋人との愛を育てよう	5若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる	
		6子どもと子育て家庭をやさしく支える	
	【雇用促進】 若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう	7若者の地元での就職や起業を支える	
		8将来性のある企業活動・ビジネスを育てる	
鳥羽ファンと市民が幸せをわかちあうまち	【観光交流】 自然の恵みと出会う感動をわかちあおう	9海洋文化都市としての資源に磨きをかける	
		10まちの美しさや機能に磨きをかける	
		11おもてなしの心を育み、鳥羽の魅力を発信する	
	【産業振興】 地域資源の豊かさをわかちあおう	12豊かな水産資源のブランド化を図る	
		13農業に触れる機会をつくる	
		14地域産業の経営安定化を図る	
	【歴史文化】 地域文化の奥深さをわかちあおう	15地域づくりに歴史文化を活かす	
		16市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる	
	自然と調和した営みが広がるまち	【環境保全】 地球にやさしい暮らしを広げよう	17低炭素社会への歩みを進め、地球環境をまもる
			18資源循環型社会をつくる
		【自然共生】 自然をまもる気持ちや活動を広げよう	19緑豊かなまちをまもる
20伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる			
【生活環境】 鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう		21安らぎの感じられる住環境をつくる	
		22安全で快適な道づくりを進める	
		23暮らしに必要な交通の便を確保する	
		24衛生的な生活の場をつくる	
		25安全で安定した水を提供する	
生きがいや安心をみんなで作るまち	【保健医療】 みんなで健康な心とからだをつくろう	26健康づくりに対する意識を高める	
		27いざという時の受診体制を整える	
		28安心できる社会保障制度を運営する	
	【福祉】 みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう	29市民の支え合いの和を広げる	
		30高齢者の生きがいある生活を支える	
		31障がい者の主体的な生活を支える	
	【安全安心】 みんなが安心できる生活の場をつくろう	32災害から市民生活をまもる	
		33生活トラブルから市民をまもる	
無駄なく効果の高い行政経営が進むまち	【協働】 みんなの心と力をあわせたまちづくりを進めよう	35市民活動が行いやすい環境をつくる	
		36協働のための仕組みをつくる	
	【行政経営】 効率的で心こもった行政経営を進めよう	37質の高い市民サービスを追求する	
		38目的達成型の行政経営を進める	
		39組織の充実と人材育成を行う	
		40持続可能な財政運営を進める	

※満足度平均付近の施策には太字、網掛けを施していない。

<後期基本計画における重点施策のポジショニングの推移>

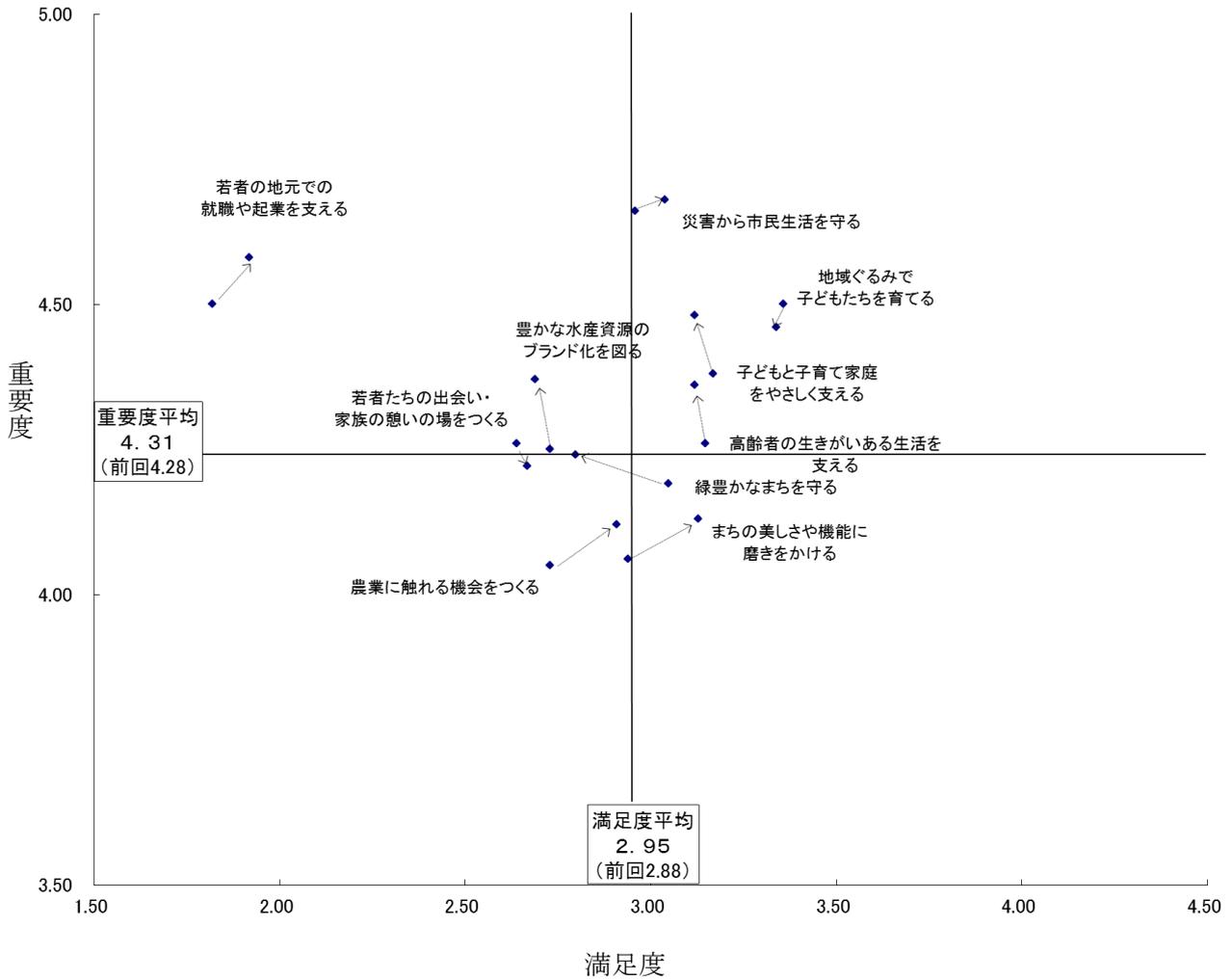
第五次鳥羽市総合計画後期基本計画に定める10の重点施策について、重要度および満足度の推移をまとめた。(下図矢印の始点が前回調査の位置、終点が今回調査の位置となっている。)

満足度・重要度ともに高い「現状の方向性を継続していく取組み」としては、「地域ぐるみで子どもたちを育てる」、「子どもと子育て家庭をやさしく支える」、「災害から市民生活を守る」、「高齢者の生きがいある生活を支える」が挙げられる。

また、満足度が低く、重要度が高い「内容を見直していくべき取組み」として、「若者の地元での就職や起業を支える」、「豊かな水産資源のブランド化を図る」が挙げられる。

前回調査より満足度が上がった取組として「まちの美しさや機能に磨きをかける」や「農業に触れる機会をつくる」などが挙げられ、逆に満足度が大きく下がった取組は「緑豊かなまちを守る」が挙げられる。

重点施策の推移



第五次計画の施策目標	満足度		重要度	
	H29	H26	H29	H26
1 地域ぐるみで子どもたちを育てる	3.34	3.36	4.46	4.50
5 若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる	2.67	2.64	4.22	4.26
6 子どもと子育て家庭をやさしく支える	3.12	3.17	4.48	4.38
7 若者の地元での就職や起業を支える	1.92	1.82	4.58	4.50
10 まちの美しさや機能に磨きをかける	3.13	2.94	4.13	4.06
12 豊かな水産資源のブランド化を図る	2.69	2.73	4.37	4.25
13 農業に触れる機会をつくる	2.91	2.73	4.12	4.05
19 緑豊かなまちをまもる	2.80	3.05	4.24	4.19
30 高齢者の生きがいある生活を支える	3.12	3.15	4.36	4.26
32 災害から市民生活をまもる	3.04	2.96	4.68	4.66

3.3 市政情報の入手について

問6. あなたは、鳥羽市の市政情報を入手する手段として、どの手段をどの程度利用されますか。
1～5の中からそれぞれ1つ選び、その番号を○で囲んでください。

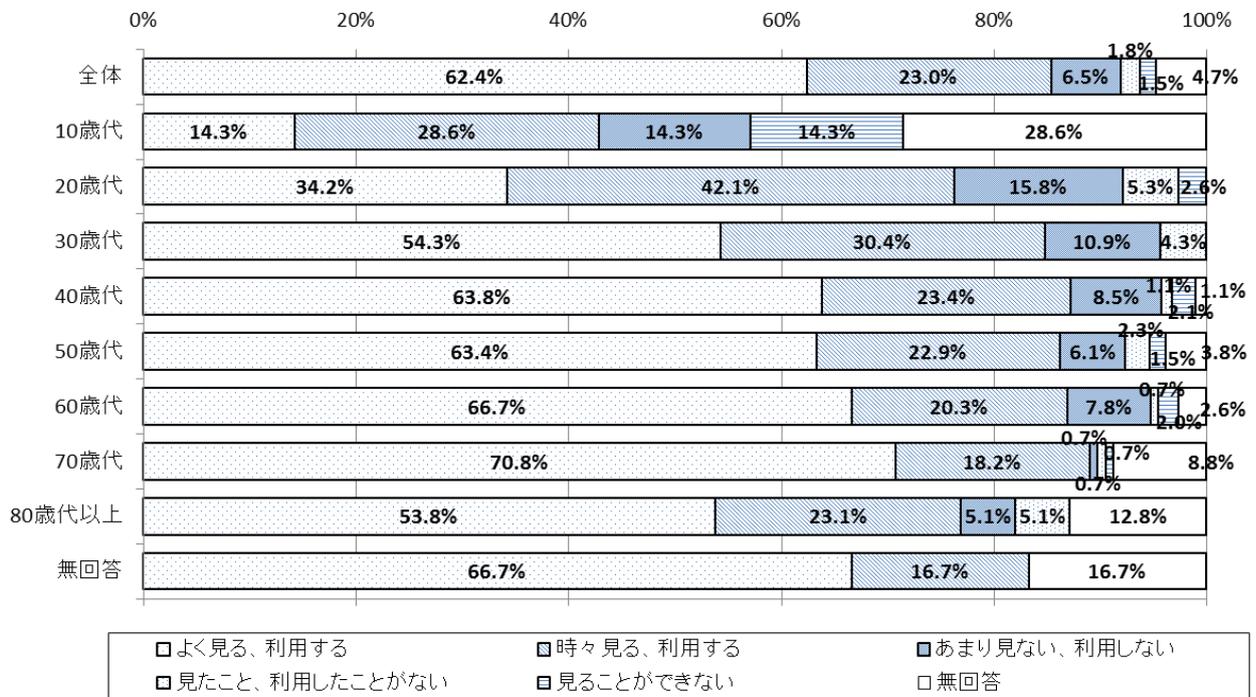
<広報とば>

【全体】

全体では「広報とば」は、“よく見る、利用する”が62.4%、“時々見る、利用する”が23.0%であり、約85%が利用している。

【年齢別】

70歳代で70.8%と最も高く、次いで60歳代、40歳代、50歳代となっており、これらの年代は全体値を上回っている。また、母数が少ないが“良く見る、利用する”は10歳代が14.3%で最も低くなっている。



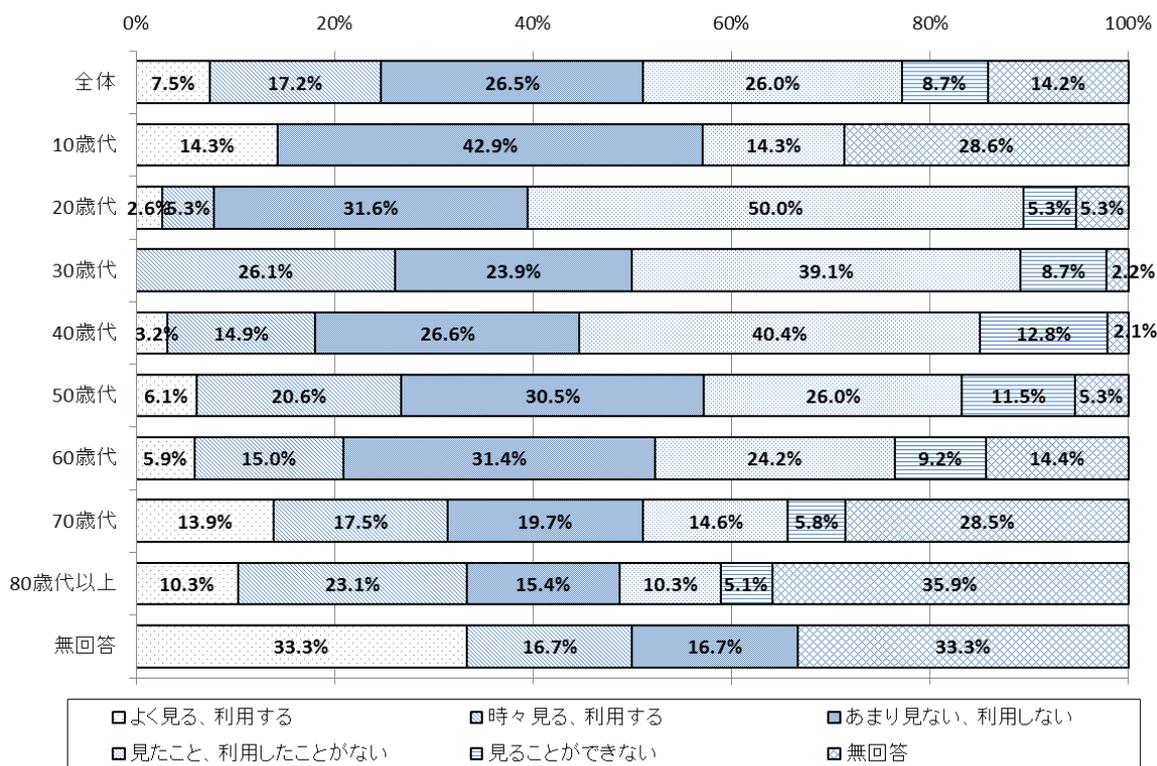
<行政放送>

【全体】

全体では「行政放送」は“よく見る、利用する”が7.5%、“時々見る、利用する”が17.2%、“あまり見ない、利用しない”が26.5%、“見たこと、利用したことがない”が26.0%、“見ることができない”が8.7%となっており、（あまり）利用しない人が約5割を占めている。

【年齢別】

“よく見る、利用する”“時々見る、利用する”の合計が、80歳代で33.4%と最も高く、次いで70歳代、50歳代、30歳代となっており、これらの年代は全体値を上回っている。



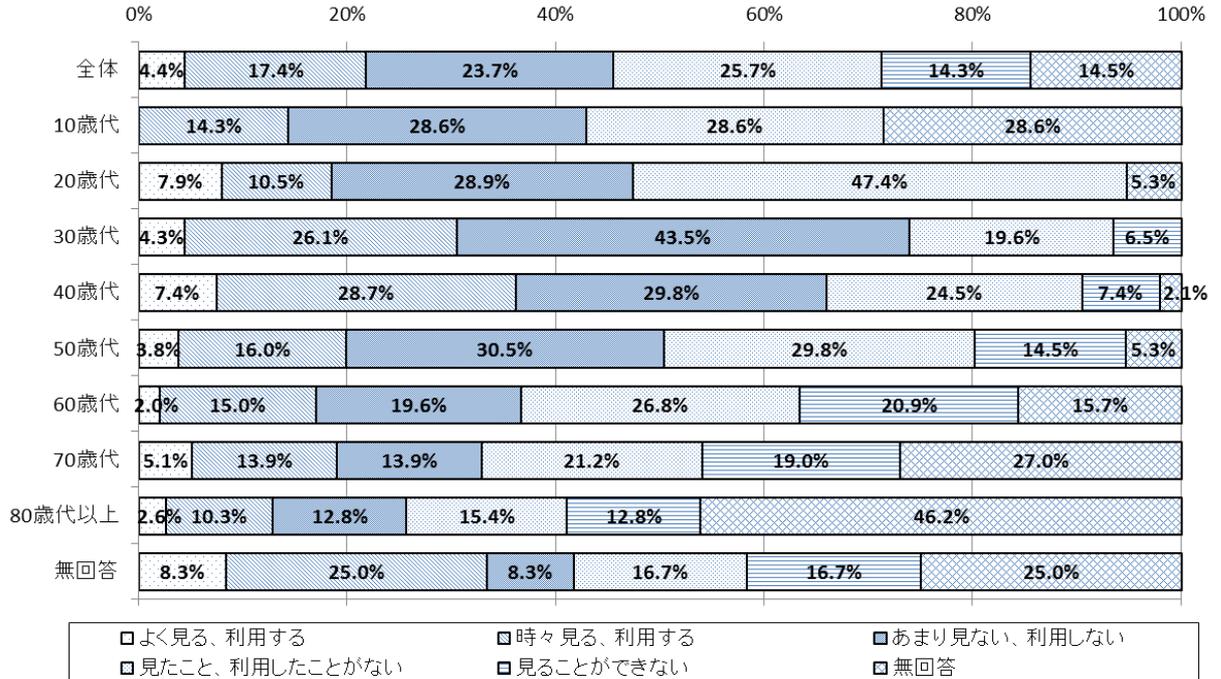
<ホームページ>

【全 体】

全体では「ホームページ」は、“見たこと、利用したことがない”が25.7%と最も高く、次いで“あまり見ない、利用しない”が23.7%となっており、見る事が出来ない人も含めた「全く利用しない人」が約6割を占めている。

【年齢別】

“よく見る、利用する”“時々見る、利用する”の合計が40歳代で36.1%と最も高く、次いで30歳代、50歳代、20歳代となっている。また、80歳代が12.9%で最も低くなっている。



3.4 市職員について

問7. あなたは、現在の市職員に対しどのような印象をお持ちですか。

問7-1 「良い印象」をお持ちの方で、その理由最大3つまで選択

1、対応が親切である	4 5 5	6、勤勉である	4 5
2、良識がある	8 7	7、時代や環境の変化に機敏	4 4
3、対応が早い	6 8	8、やる気にあふれている	3 6
4、市に愛着を持っている	5 3	9、経営感覚がある	1 0
5、市民第一に考えている	5 0	合計	8 4 8

問7. あなたは、現在の市職員に対しどのような印象をお持ちですか。

問7-2 「悪い印象」をお持ちの方で、その理由最大3つまで選択

1、決められた仕事しかしない	1 6 9	6、モラル、マナーの意識が低い	5 1
2、市民の立場に立っていない	1 2 6	7、無責任である	4 2
3、あいさつをしない	6 2	8、世間の情報に鈍感である	3 9
4、仕事が遅い	5 8	9、市民に愛着を持っていない	2 7
5、コスト意識が低い	5 5	合計	6 2 9

3.5 市政への市民参画について

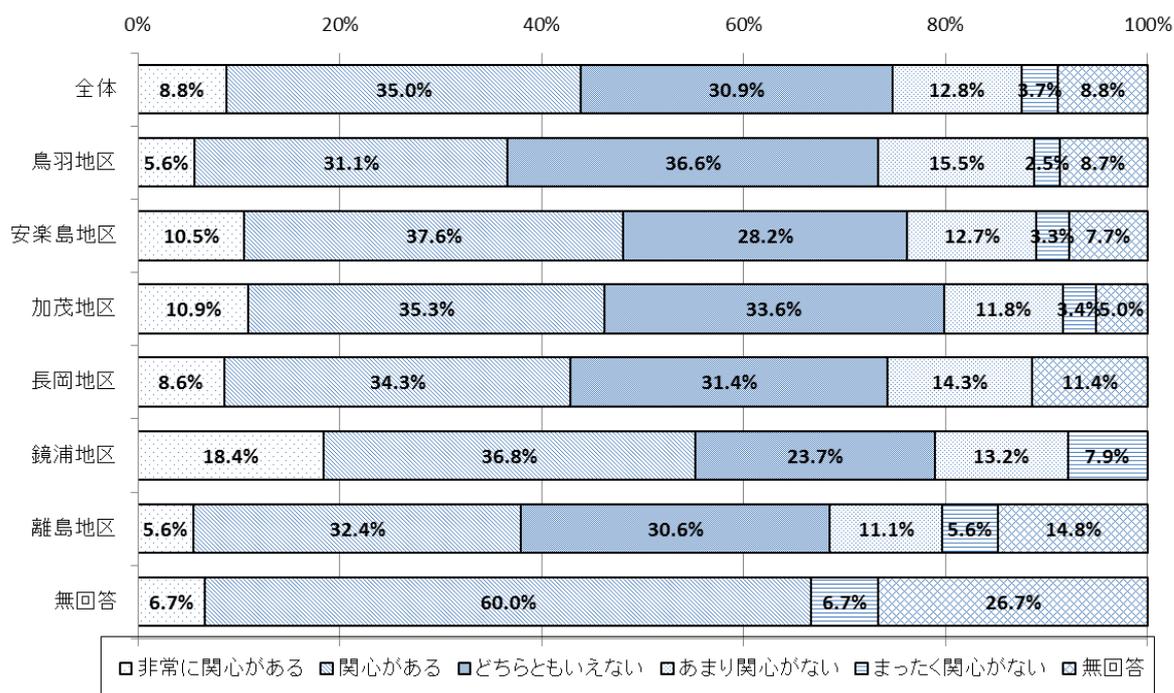
問8. あなたは、鳥羽市の市政にどれくらい関心をお持ちでしょうか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

【全体】

全体では“非常に関心がある”“関心がある”の合計が43.8%と半数近くを占めており、“あまり関心がない”“まったく関心がない”の合計が16.5%となっている。

【地区別】

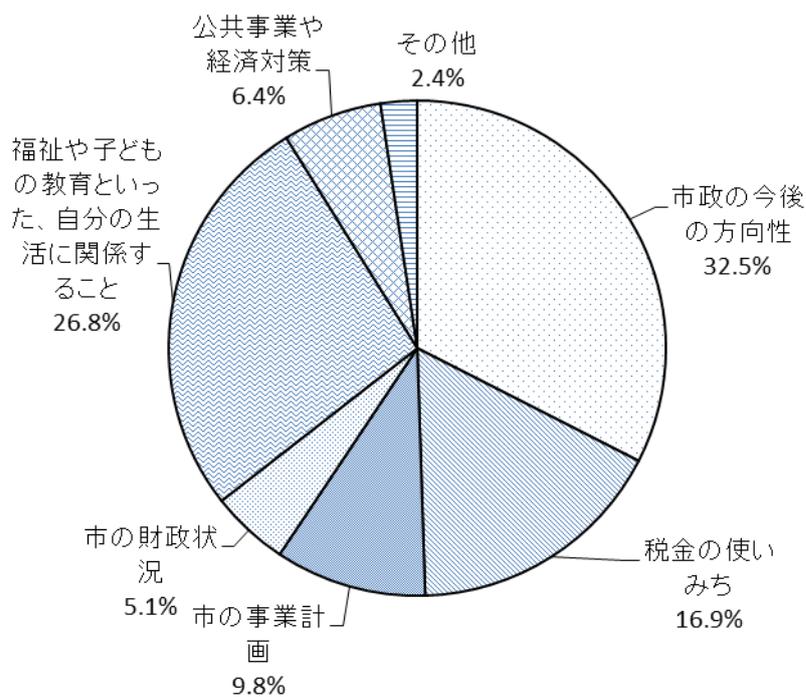
“非常に関心がある”“関心がある”の合計が、鏡浦地区で55.2%と最も高く、次いで安楽島地区となっており、これらの地区は全体値を上回っている。なお、鳥羽地区が36.7%で最も低くなっている。



問8-1. あなたが鳥羽市政に関心をお持ちなのは、主にどのような点についてでしょうか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

【全体】

全体では“市政の今後の方向性”が32.5%と最も高く、次いで“福祉や子どもの教育といった、自分の生活に関係すること”が26.8%、“税金の使いみち”が16.9%となっている。



問9. これからのまちづくりは、市と市民が適切な役割分担のもとに、パートナーシップにより取り組んでいくことが重要です。次の(1)～(10)について、あなたはどのような役割分担をお考えですか。1～4の中からそれぞれ1つ選び、その番号を○で囲んでください。

全体では“市が担う”で多いのは、「地域の文化財や景観の維持管理」が38.8%、「生物調査などの自然環境保護や育成活動」が37.6%、「共同利用施設などの地域の公共施設の運営・維持管理」が37.3%となっている。

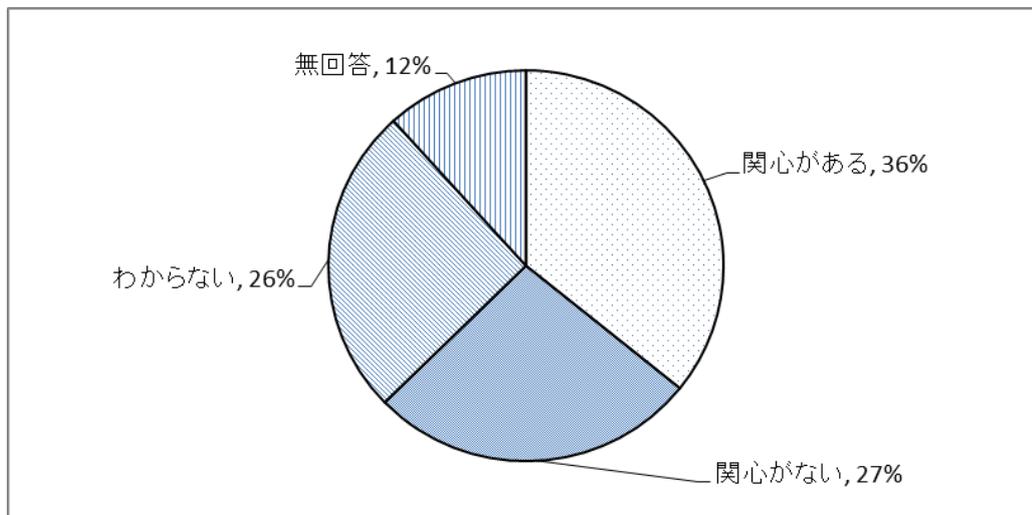
“市民と市が担う”が多いのは、「地域での子育て支援や子どもの健全育成活動」が69.4%、「防災・防犯活動」が68.0%、「ごみの減量化やリサイクルの推進などの環境活動」が65.3%となっている。

“市民が担う”はいずれも少ないが、「健康増進活動」が9.9%となっている。

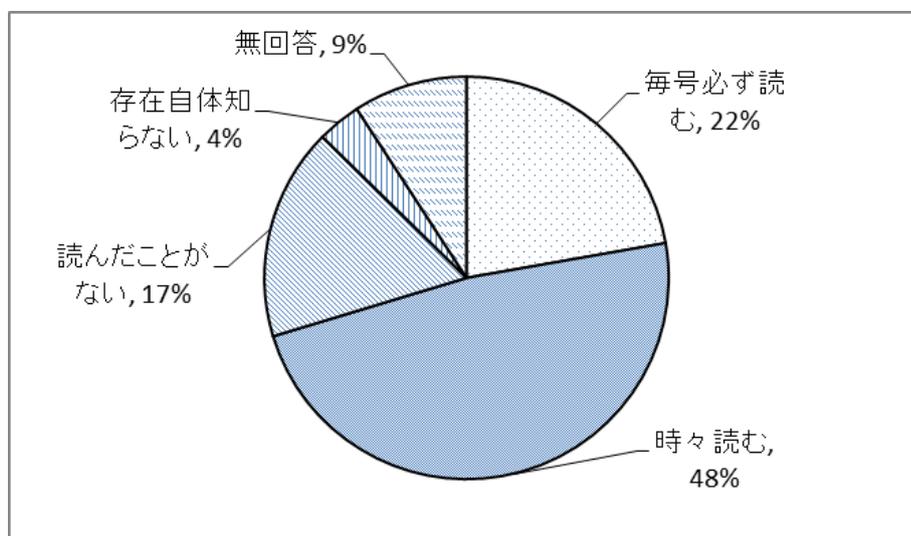
回答項目	市が担う	市民と市が担う	市民が担う	わからない	無回答
(1)地域の道路の修繕必要箇所の発見などの道路管理	36.5%	49.9%	1.7%	4.9%	7.0%
(2)地域の公園やその樹木等の維持管理・利用促進活動	33.3%	47.5%	3.5%	6.5%	9.1%
(3)ごみの減量化やリサイクルの推進などの環境活動	15.5%	65.3%	8.1%	3.8%	7.3%
(4)生物調査などの自然環境保護や育成活動	37.6%	38.4%	2.4%	12.8%	8.8%
(5)高齢者や障がい者の生活支援や社会参加促進活動	25.7%	58.8%	0.8%	6.5%	8.2%
(6)地域での子育て支援や子どもの健全育成活動	12.9%	69.4%	4.6%	5.0%	8.1%
(7)健康増進活動	22.8%	52.8%	9.9%	5.6%	8.8%
(8)防災・防犯活動	17.0%	68.0%	2.9%	4.0%	8.1%
(9)地域の文化財や景観の維持管理	38.8%	44.1%	2.9%	6.1%	8.1%
(10)共同利用施設などの地域の公共施設の運営・維持管理	37.3%	46.0%	2.7%	5.8%	8.2%

3.6 市議会について

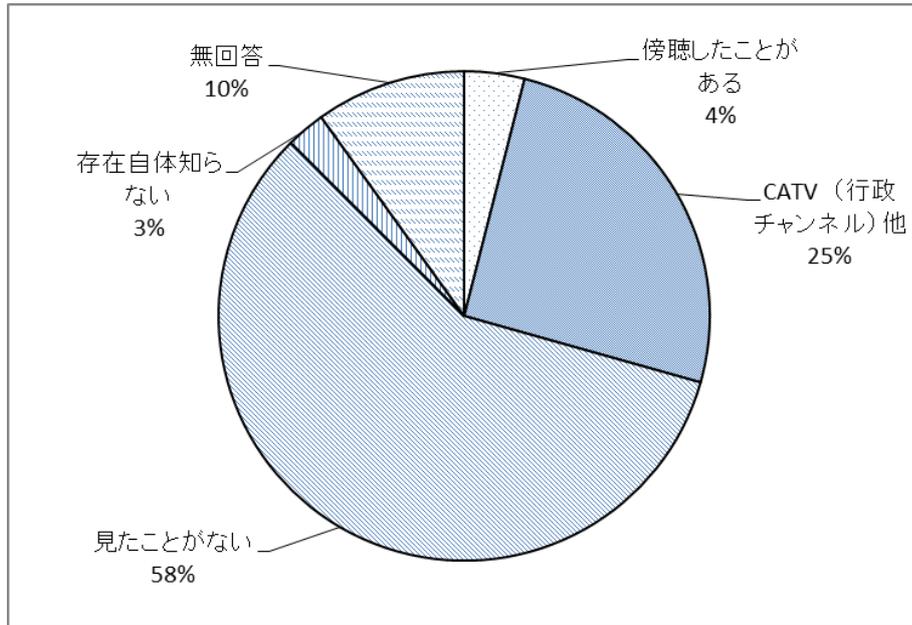
問10. 市議会に関心がありますか。



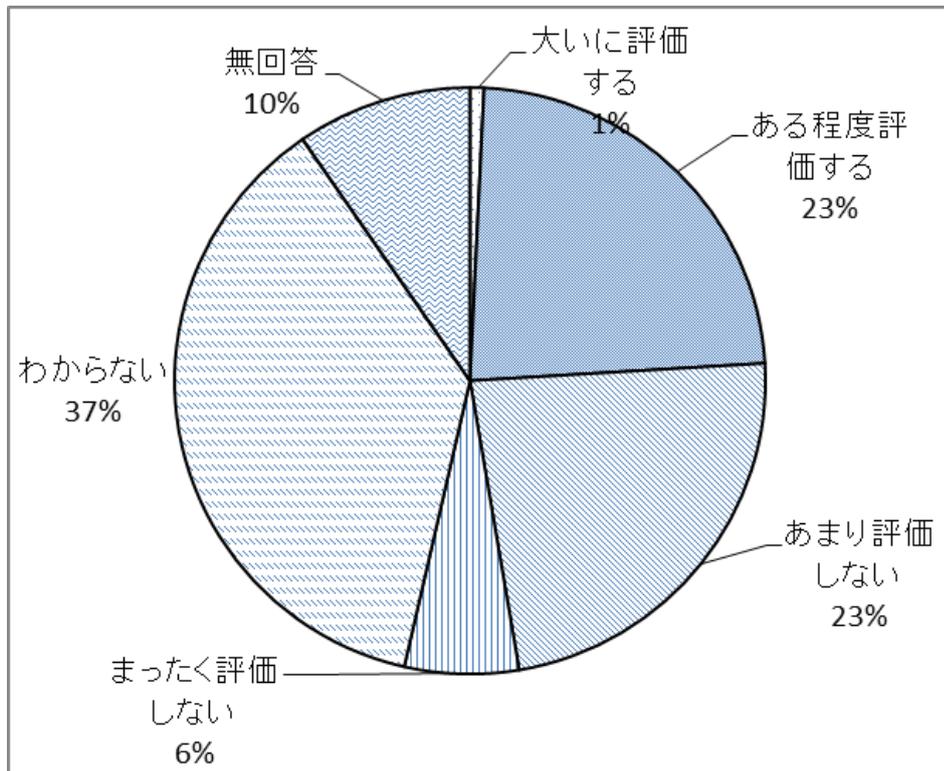
問11. とば市議会だより（議会の広報誌）を読んだことがありますか。



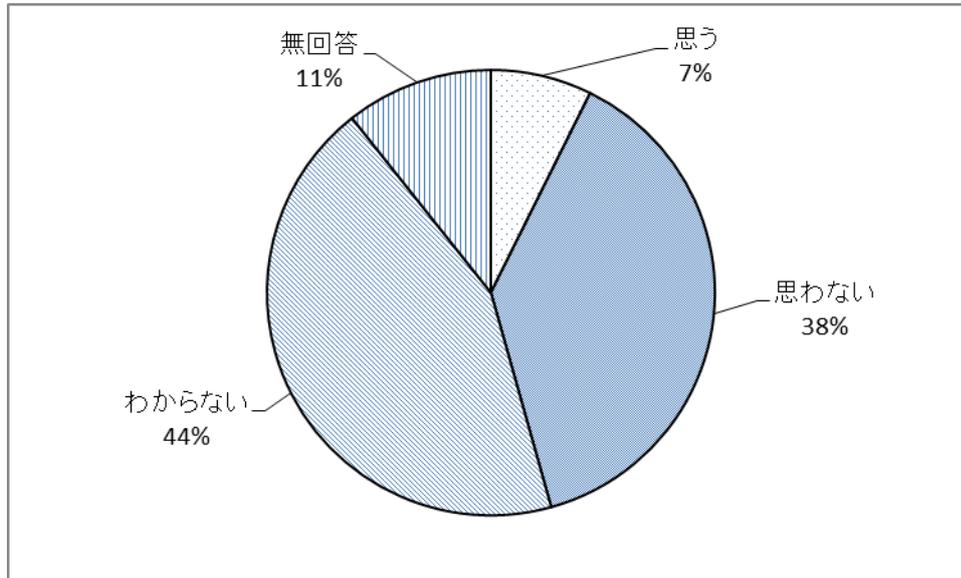
問 1 2. 市議会の会議を見たことがありますか。



問 1 3. 現在の市議会をどのように評価しますか。



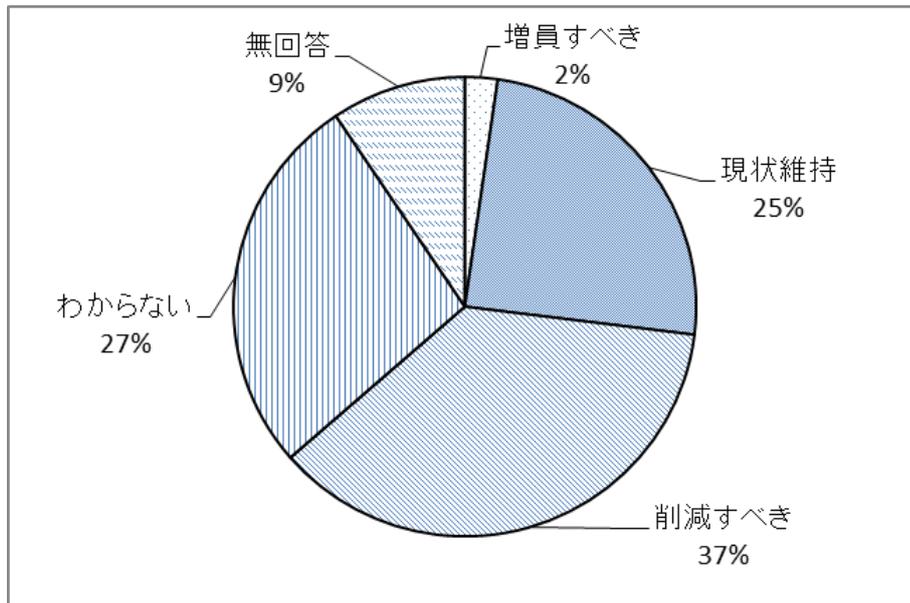
問 1 4. 市民の声が市議会に反映されていると思いますか。



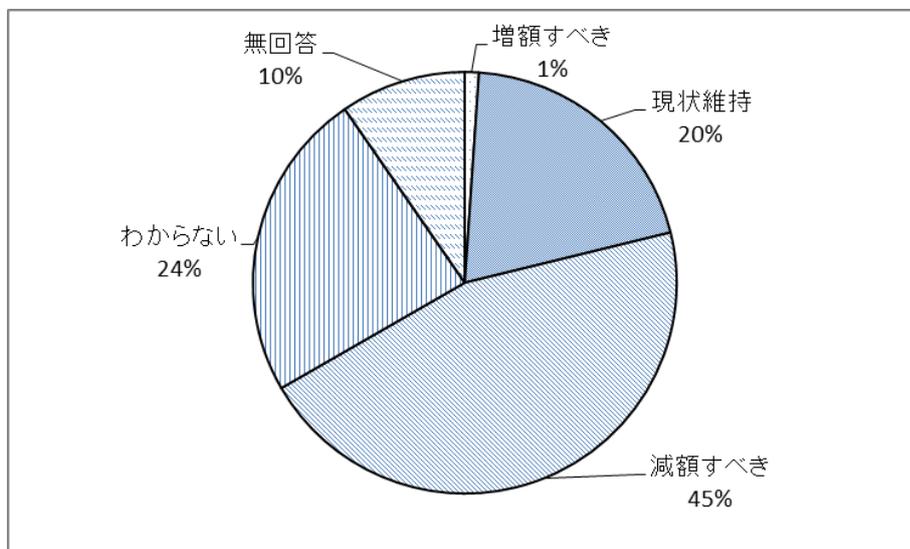
問 1 5. あなたが市議会や議員に期待することは何ですか。(複数回答可)

1、道路・水道・環境・福祉など地域に密着した内容の相談や要望	327 (28.8%)	5、市に対する政策立案や議員提案	120 (10.6%)
2、議会や議員が何をしているかが分かるような市民への情報発信	239 (21.1%)	6、子ども議会・女性議会の開催や市民公募による議会参加制度の導入	43 (3.8%)
3、議員の資質や能力の向上	230 (20.3%)	7、その他	15 (1.3%)
4、市の行政や財政に対する監視	160 (14.1%)	合計	1,134

問16. 現在の議員定数は14人ですが、議員数についてどう思いますか。



問17. 議員に毎月33万5千円の報酬が支給されていますが、報酬についてどう思いますか。



鳥羽市市民意識調査

——まちづくりにあなたの声を——

●総合計画に関するアンケートのお願い●

●「伊勢志摩」ナンバープレート導入について●

日頃から、市行政に対しましてご理解とご協力を頂きありがとうございます。
現在、鳥羽市では、平成28年を初年度として第5次鳥羽市総合計画後期基本計画を進めているところです。

そこで、日頃住民の皆様が鳥羽市のまちづくりについて感じているご意見、ご要望をお聞かせいただき、これからのまちづくりを進めていくための基礎資料とするため、18歳以上の住民2,000人を無作為抽出し、市民意識調査を実施することとなりました。

お忙しいとは存じますがアンケート用紙にご回答いただき、同封の返信用封筒（切手を貼る必要はありません）に入れ、

9月20日（水）

までにご投函くださいますようお願い致します。

ご回答いただきました結果は、すべて統計処理し、本調査以外の目的には使用いたしませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い致します。

なお、10ページには、市議会より依頼のありました調査もあわせて実施させていただきますので、ご回答をお願い申し上げます。

平成29年9月

鳥羽市長 中村 欣一郎

【ご記入にあたってのお願い】

1. 必ず、あて名のご本人がお答え下さい。
2. 回答については、下の記入例のように該当する選択肢の番号に○をつけてください。
なお、「その他」に○をつけた場合は、（ ）内に具体的な内容をお書きください。
記入例 ①. 男性 2. 女性
3. 設問によって、お答えいただく数が1つだけの場合と複数の場合とがあります。回答数を間違えますと、ご意見を反映できないこともありますのでご注意ください。

問い合わせ先

調査についてのお問い合わせは下記までお願い致します。

鳥羽市役所 企画財政課 電話 25-1101 担当：山下、岩井

【あなたご自身についておたずねします】

問1. あなたご自身についておたずねします。(1)～(7)までで、それぞれ該当するものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

(1) あなたの性別は。 (2) あなたの年齢は。

1. 男性	2. 女性	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
		5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳代以上

(3) あなたの世帯構成は次のうちどれにあたりますか。

1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 親と子ども(ご自身は親)
4. 親と子ども (ご自身は子ども)	5. 三世帯同居	6. その他

(4) あなたの主なご職業は。(兼業の方は、主たる職業についてお答えください。)

1. 農林漁業(家族従事者も含む)	
2. 自営業・自由業(商業、工業、サービス業など、家族従事者も含む)	
3. 会社員、公務員など(会社役員、専門職、契約期間6ヶ月以上の契約社員も含む)	
4. パートタイム、アルバイト、契約社員(契約期間6ヶ月未満)、内職など	
5. 学生	6. 主婦・主夫(主に家事に従事)
7. 無職	8. その他()

(5) あなたが、通勤・通学、日常のお出かけの際に利用している交通手段は次のどれですか。
あてはまるものを全て選び、その番号を○で囲んでください。

1. 鉄道	2. バス	3. 定期船	4. 自家用車
5. オートバイ	6. 自転車	7. 徒歩のみ	8. その他()

(6) あなたは鳥羽市にお住まいになってどれくらい経ちますか。

1. 5年未満	2. 5年以上10年未満
3. 10年以上20年未満	4. 20年以上

(7) あなたのお住まいの地区をお答えください。

1. 鳥羽一丁目	2. 鳥羽二丁目	3. 鳥羽三丁目	4. 鳥羽四丁目	5. 鳥羽五丁目
6. 堅神町	7. 屋内町	8. 池上町	9. 小浜町	10. 大明東町
11. 大明西町	12. 高丘町	13. 安楽島町	14. 船津町	15. 幸丘
16. 若杉町	17. 河内町	18. 岩倉町	19. 松尾町	20. 白木町
21. 相差町	22. 国崎町	23. 畔蛸町	24. 千賀町	25. 堅子町
26. 浦村町	27. 石鏡町	28. 坂手町	29. 桃取町	30. 答志町
31. 菅島町	32. 神島町			

【鳥羽市への愛着・住みやすさ・定住意向について】

問2. あなたは、現在お住まいの地域に愛着をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 持っている	2. どちらかといえば持っている
3. どちらかといえば持っていない	4. 持っていない

問3. あなたにとって、鳥羽市は住みやすいまちだと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 住みやすい	2. まあ住みやすい
3. やや住みにくい	4. 住みにくい

問4. あなたは今後も鳥羽市に住んでいたいと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. <u>ずっと住んでいたい</u>	3. <u>市外に移りたい</u>
2. <u>しばらくは住むつもり</u>	4. <u>近いうちに転出する</u>

↓ 問 4-1 にお進みください

↓ 問 4-2 にお進みください

問4-1 それはこういった理由からですか。 次の中から主なものを <u>最大 3 つまで</u> 選び、 その番号を○で囲んでください。	問4-2 それはこういった理由からですか。 次の中から主なものを <u>最大 3 つまで</u> 選び、 その番号を○で囲んでください。
1. 交通の便がよい	1. 交通の便が悪い
2. 買い物が便利である	2. 買い物が不便である
3. 公害が少ない	3. 公害により環境が悪い
4. 下水道などの基盤整備がよい	4. 下水道などの基盤整備が遅れている
5. 災害の危険性が少ない	5. 災害に対する不安が大きい
6. 犯罪が少なく風紀がよい	6. 犯罪に対する不安が大きい
7. 緑や自然環境が豊かである	7. 緑や自然環境が少ない
8. 近所づきあいなどの人間関係がよい	8. 近所づきあいなどの人間関係がよくない
9. 教育など子どもを育てる環境がよい	9. 教育など子どもを育てる環境がよくない
10. 医療や福祉環境が充実している	10. 医療や福祉環境が充実していない
11. 働き口が確保されている	11. 働き口が不足している
12. 文化やスポーツの機会に恵まれている	12. 文化やスポーツにふれる機会が少ない
13. まちに魅力や活気がある	13. まちに魅力や活気がない
14. その他 ()	14. その他 ()

【市政に対する満足度・重要度について】

問5. 本市では、将来都市像の『真珠のようにきらり輝く鳥羽』を実現するために、以下に挙げるような「目標」と「めざすまちの姿」を設定して、施策を推進しています。
 こうした取り組みについて、現在あなたはどの程度満足され、どの程度重要視されていますか？ 満足度・重要度ともに5段階で評価し、それぞれ1～5の中から1つ選んで、その番号を○で囲んでください。（取り組みの内容を知らない場合や、全く関心がない場合は、「6. わからない」を選んでください。）

目 標	めざすまちの姿	満 足 度						重 要 度					
		満足している	やや満足している	どちらでもない	やや不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	わからない
1. 学びたい・働きたい・住みたいという思いが育つまち													
【人材育成】 市民の郷土愛を育てよう													
1 地域ぐるみで子どもたちを育てる	学校・家庭・地域の連携強化と、安全で安心な学習環境の整備により、人間性豊かで心身ともに健全な児童生徒が育っています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
2 市民や子どもたちの生涯学習を進める	こどもから老人まで生涯を通じて自分にあった学習に取り組み、生活にうるおいとゆとりを感じる社会となっています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
3 スポーツを通じて健全な心と体を育てる	市民がどこでも、誰でも、いつでもスポーツ活動ができるような環境が整い、健康で豊かな生活を送っています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
4 多様な個性や文化を認め合う精神を育てる	人権意識を高めるための教育、学習が充実しており、様々な差別をなくす意識が根づいています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
【結婚・子育て】 家族や恋人との愛を育てよう													
5 若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる	鳥羽のまち並みを魅力と感じる若者たちが出会い、鳥羽に住むことを望んでいます。また、市民は公園や水辺に親しみ、環境の保全、及び美化に配慮しながら、豊かな時間を過ごしています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
6 子どもと子育て家庭をやさしく支える	子どもに関する相談体制の充実や多様な子育てニーズに対応したサービスの提供により、すべての子育て家庭が安心して生活し、親子が心身ともに健やかに成長しています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
【雇用促進】 若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう													
7 若者の地元での就職や起業を支える	産業振興と雇用促進の充実により、就労場所が確保され、若者の市外への転出が抑制されています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

目 標	めざすまちの姿	満 足 度						重 要 度					
		満足している	やや満足している	どちらでもない	やや不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	わからない
	若者の雇用の場づくりと産業振興を支援するため、新たな企業誘致等により、市内で働く人が増えています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
2. 鳥羽ファンと市民が幸せをわかちあうまち													
【観光交流】 自然の恵みと出会う感動をわかちあおう													
9 海洋文化都市としての資源に磨きをかける	観光地としてのブランド力・魅力が高くなり、全国各地から多くの観光客が訪れ、再来訪者が増えています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
10 まちの美しさや機能に磨きをかける	鳥羽港佐田浜地区・鳥羽駅から鳥羽2～4丁目を経て鳥羽水族館・ミキモト真珠島へ快適に周回できるようになっています。また、統一感のあるまち並みが形成されています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
11 おもてなしの心を育み、鳥羽の魅力を発信する	鳥羽の魅力が国内外へ十分に伝わり、旅行商品の品揃えが多く、来訪者が感動と幸せを感じ、何度も訪れたいくなっています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
【産業振興】 地域資源の豊かさをわかちあおう													
12 豊かな水産資源のブランド化を図る	水産物の生産力や価格の向上、就労・生産環境の改善などの取り組みにより、漁家経営が安定し、新規就業者が漁村集落を支えています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
13 農業に触れる機会をつくる	農地が生産基盤として有効に利用され、耕作放棄地の拡大が止まっています。また、休日ごとに市内の何処かで朝市が開かれ、野菜などの農産物を身近で買うことができます。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
14 地域産業の経営安定化を図る	市内の企業や商店が地域資源の研究を進め、商品の特産品化を推し進めています。また、中心市街地にある空き店舗を活用した新しい店舗が増え、まちの賑わいが創生されています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
【歴史文化】 地域文化の奥深さをわかちあおう													
15 地域づくりに歴史文化を活かす	鳥羽の歴史文化の大切さを認識し、保全に努めるとともに、観光施策において積極的に活用することで、まちが活性化しています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

16	市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる	快適で美しく、魅力的なまちに向けた整備が進んでおり、憩いの場には市民・来訪者が集っています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
3. 自然と調和した営みが広がるまち														
【環境保全】地球にやさしい暮らしを広げよう														
17	低炭素社会への歩みを進め、地球環境をまもる	市と事業者、市民が連携して温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。また、訪れる人も排出抑制に協力しています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
18	資源循環型社会をつくる	ごみを資源として活用するまちになっています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
【自然共生】自然をまもる気持ちや活動を広げよう														
19	緑豊かなまちをまもる	森林の整備により森林本来の機能が回復し、緑豊かな森林環境がつけられています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
20	伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる	森林の整備に加え、生活排水対策やごみの回収が行われることで海や川の環境が守られています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう														
21	安らぎの感じられる住環境をつくる	まち並みが周辺と調和するよう、意識的に良好な景観がつけられています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
22	安全で快適な道づくりを進める	市民の利用する道路の改良、維持修繕を行い、生活の利便性・快適性が向上しています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
23	暮らしに必要な交通の便を確保する	市営の定期船とかもめバスが地域公共交通として一体的に運用され、鉄道との連携もとれた使い勝手のよい交通になっています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
24	衛生的な生活の場をつくる	清潔で安心した暮らしが守られています。また、ごみの不法投棄が減少しています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
25	安全で安定した水を提供する	健全な水道事業が運営され、安全・安心でおいしい水が安定的に供給されています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
4. 生きがいや安心をみんなでつくるまち														
【保健医療】みんなで健康な心とからだをつくらう														

26	健康づくり に対する意 識を高める	市民が普段から予防に心がけた 食生活や運動などを実践してい ます。また、各種がん検診等を 積極的に受診し、疾病の予防・ 早期発見に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
27	いざという 時の受診体 制を整える	市民がいつでも安心して受診で きる医療体制が整備されていま す。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
28	安心できる 社会保障制 度を運営す る	国民健康保険などの社会保障制 度が確立され、市民が医療や老 後の生活に不安なく暮らせてい ます。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
【福祉】 みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう														
29	市民の支え 合いの和を 広げる	各種福祉事業所がより効果的な 運営を行うことで、市民は必要 な情報を分かりやすく入手し、 最適な組み合わせのサービスが 利用できるようになっていま す。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
30	高齢者の生 きがいある 生活を支え る	公的なサービスをはじめ、ボラ ンティアによる支援、住民同士 の助け合いなど、多様な主体に よるぬくもりのある支え合いの まちになっています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
31	障がい者の 主体的な生 活を支える	障がいのある人の悩みや要望な どのニーズにあったサービスの 確保と質の向上が進むととも に、障がい者の早期発見・早期 療育など一貫した相談支援体制 が充実したまちになっていま す。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
【安全・安心】 みんなが安心できる生活の場をつくろう														
32	災害から市 民生活をま もる	市民・事業者・関係機関・行政 が連携して地域や組織の防災力 を高めることにより、各種災害 による被害を最小限に食い止め られるようになっています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
33	生活トラブ ルから市民 をまもる	犯罪やトラブルに対する啓発が 充実しており、未然にそれらが 防止されていると同時に、利用 しやすい相談体制が確立され、 市民が安全・安心に生活してい ます。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
34	消防・救急 体制を充実 する	各種災害に迅速・的確に対応で きる消防力を確保することによ り、被害を最小限にしています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
5. 無駄なく、効果の高い行政経営が進むまち														
【協働】 みんなの心と力を合わせたまちづくりを進めよう														

35 市民活動が行いやすい環境をつくる	市民と行政が、連携・分担しながら地域課題の解決を図り、その実現に向けて協力し合っています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
36 協働のための仕組みをつくる	市民、関連諸団体、大学などが、行政とともに市政運営について考え、一体となって政策の推進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
37 質の高い市民サービスを追求する	市民が、平等に質の高い行政サービスを受けています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
【行政経営】 効率的で心のこもった行政経営を進めよう													
38 目的達成型の行政経営を進める	市民が、まちづくりの目標や進捗を手取るように分かっています。また、行政課題について必要な協議がなされ、的確に対処しています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
39 組織の充実と人材育成を行う	組織の見直しにより、まちづくりの課題に適切に対応するとともに、職員一人ひとりの意識・能力が向上し、市民から頼られる市役所になっています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
40 持続可能な財政運営を進める	市の財政状況が分かりやすく情報発信され、透明度の高い財政運営となっています。また、経費の節減や合理化、市税等の収入確保が図られ、財政の弾力性が確保されています。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

【市政情報の入手について】

問6. あなたは鳥羽市の市政情報入手する手段として、次の1～3について、どの手段をどの程度利用されますか。それぞれ1～5の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

項目 \ 評価	よく見る、利用する	時々見る、利用する	あまり見ない、利用しない	見たこと、利用したことがない	見るのができない
1. 広報とば	1	2	3	4	5
2. 行政放送	1	2	3	4	5
3. ホームページ	1	2	3	4	5

【市職員の印象について】

問7. あなたは、現在の市職員に対しどのような印象をお持ちですか。

問7-1. 「良い印象」をお持ちの方は、次の中からその理由を最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. 対応が親切である	2. 対応が早い	3. 勤勉である
4. やる気にあふれている	5. 時代や環境の変化に敏感	6. 市民第一に考えている
7. 経営感覚がある	8. 良識がある	9. 市に愛着を持っている

問7-2. 「悪い印象」をお持ちの方は、次の中からその理由を最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. あいさつをしない	2. 仕事が遅い	3. 決められた仕事しかしない
4. 無責任である	5. 世間の情報に鈍感である	6. 市民の立場に立っていない
7. コスト意識が低い	8. モラル・マナーの意識が低	9. 市に愛着を持っていない

【市政への市民参画について】

問8. あなたは鳥羽市政にどれくらい関心をお持ちですか。次の中から1つを選び、その番号を○で囲んでください。

1. 非常に関心がある ……	3. どちらともいえない	5. まったく関心がない
2. 関心がある ……	4. あまり関心がない	

↓ 問8-1 へお進みください

問8-1. 問8で「1. 非常に関心がある」「2. 関心がある」と回答された方のみお答えください。あなたが鳥羽市政に関心をお持ちなのは、主にどういった点についてですか。次の中から1つを選び、その番号を○で囲んでください。

1. 市政の今後の方向性
2. 税金の使いみち
3. 市の事業計画
4. 市の財政状況
5. 福祉や子どもの教育といった、自分の生活に関係すること
6. 公共事業や経済対策といった、自分の事業や仕事に関係すること
7. その他 ()

【市議会について】

問10. 市議会に関心がありますか。

1. ある	2. ない	3. わからない
-------	-------	----------

問11. とば市議会だより（議会の広報誌）を読んだことがありますか。

1. 毎号必ず読む	2. 時々読む
3. 読んだことがない	4. 存在自体知らない

問12. 市議会の会議を見たことがありますか。

1. 傍聴したことがある	2. ケーブルテレビ（行政チャンネル）やインターネット放送をみたことがある
3. みたことがない	4. 存在自体知らない

問13. 現在の市議会をどのように評価しますか。

1. 大いに評価する	2. ある程度評価する	3. あまり評価しない
4. まったく評価しない	5. わからない	

問14. 市民の声が市議会に反映されていると思いますか。

1. 思う	2. 思わない	3. わからない
-------	---------	----------

問15. あなたが市議会や議員に期待することは何ですか。（複数回答可）

1. 市の行政や財政に対する監視	2. 道路・水道・環境・福祉など地域に密着した内容の相談や要望
3. 市に対する政策立案や議員提案	4. 議会や議員が何をしているかが分かるような市民への情報発信
5. 子ども議会・女性議会の開催や市民公募による議会参加制度の導入	6. 議員の資質や能力の向上
7. その他（ ）	

問16. 現在の議員定数は14人ですが、議員数についてどう思いますか。（下記参照）

1. 増員すべき	2. 現状維持
3. 削減すべき	4. わからない

問17. 議員に毎月33万5千円の報酬が支給されていますが、報酬についてどう思いますか。（下記参照）

1. 増額すべき	2. 現状維持
3. 減額すべき	4. わからない

	全国平均	鳥羽市	岩手県 陸前高田市	千葉県 勝浦市	三重県 尾鷲市	京都府 宮津市	高知県 安芸市	大分県 津久見市	宮崎県 串間市
人口(人)	(5万未満)	19,423	19,666	18,275	18,537	18,509	17,794	18,257	18,071
議員定数(人)	17.4	14	18	16	13	16	14	14	15
月額報酬(円)	330,300	335,000	300,000	288,000	321,000	350,000	315,000	310,000	310,000

～「伊勢志摩」ナンバープレート導入について～

現在、鳥羽市では、周辺市町とともに伊勢志摩地域独自の自動車ナンバープレートを導入することの是非について検討を行っています。

昨年5月に開催された伊勢志摩サミットでは、各国首脳の動向や地域の情報が世界中に発信され、「伊勢志摩」という地名は世界的に有名になりました。この「伊勢志摩」の知名度を最大に活用し、観光振興や地域の活性化を図るため、平成32年度から図柄入りの「伊勢志摩」ナンバーを導入してはどうかというものです。

導入されますと、市内にお住いの方や事業所が車を購入される場合、交付されるナンバープレートの地域名表示は、現在の「三重」から「伊勢志摩」にかわります。

あわせて、ご希望によりますが、地域独自の「図柄入りナンバープレート」を選択できるようになります。そこでおたずねします。

問18. 「三重」ナンバーが「伊勢志摩」ナンバーに変わるとすると、あなたはごどう思いますか。

(※文字数が4文字までと規定されていることから、「伊勢志摩」とする。)

1. 賛成	2. どちらかといえば賛成	3. どちらかといえば反対
4. 反対		

問19. 伊勢志摩地域限定の「図柄入りナンバープレート」が選択できるようになったとき、あなたは交付を希望されますか。

1. 希望する	2. 図柄によっては希望する	3. どちらかといえば希望しない
4. 希望しない		

問20. 伊勢志摩ナンバーの図柄として何がふさわしいと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

1. 賢島	2. 宇治橋	3. しめ縄
4. 夫婦岩	5. 真珠	6. 稲穂
7. 鳥居	8. 伊勢海老	9. 海女
10. その他 ()		

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。